

(様式第 10)

長大病総第 727 号
平成 30 年 10 月 9 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人 長崎大学長
河野 洋

長崎大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 29 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒852-8521 長崎市文教町1-14
氏 名	国立大学法人 長崎大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

長崎大学病院

3 所在の場所

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号	電話(095)819-7200
---------------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	① 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
①呼吸器内科 ②消化器内科 ③循環器内科 ④腎臓内科	
⑤神経内科 ⑥血液内科 7内分泌内科 8代謝内科	
⑨感染症内科 10アレルギー疾患内科またはアレルギー科 ⑩リウマチ科	
診療実績	
内分泌内科及び代謝内科については内分泌・代謝内科で対応している。 アレルギー疾患については皮膚科等で対応している。	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科 ②消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 ⑥心臓血管外科 7内分泌外科 ⑧小児外科	
診療実績 乳腺外科及び内分泌外科については、乳腺・内分泌外科で対応している。	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 6泌尿器科 ⑦産婦人科 8産科 9婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科
--

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 ①小児歯科 ②矯正歯科 3口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1泌尿器科・腎移植外科 2形成外科 3内分泌・代謝内科 4乳腺・内分泌外科 5病理診断科 6移植外科 7脳神経内科 8胃・食道外科 9大腸・肛門外科 10肝胆膵外科・肝移植外科 11歯科口腔外科 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
42床	2床	6床	0床	812床	862床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	575人	30人	586人	看護補助者	57人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	148人	3人	150.3人	理学療法士	22人	臨床検査技師	70人
薬 剤 師	57人	0人	57人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	9人	その他	3人
助産師	27人	0人	27人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	874人	5人	877.4人	臨床工学士	20人	医療社会事業従事者	10人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	50人
歯科衛生士	17人	0人	17人	歯科技工士	5人	事務職員	281人
管理栄養士	15人	0人	15人	診療放射線技師	46人	その他の職員	5人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	55人	眼科専門医	14人
外科専門医	56人	耳鼻咽喉科専門医	10人
精神科専門医	8人	放射線科専門医	22人
小児科専門医	26人	脳神経外科専門医	16人
皮膚科専門医	12人	整形外科専門医	24人
泌尿器科専門医	9人	麻酔科専門医	27人
産婦人科専門医	18人	救急科専門医	12人
		合 計	309人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経歴

管理者名 (増崎英明) 任命年月日 平成26年10月1日

・医療安全管理委員会 (医療安全に関する委員会) 委員長 (平成26年10月1日～継続中)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	698.8 人	15.6 人	714.4 人
1日当たり平均外来患者数	1,331.57 人	424.43 人	1,756 人
1日当たり平均調剤数			2931 剤
必要医師数			161人
必要歯科医師数			25人
必要薬剤師数			37人
必要(准)看護師数			443人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	405.55 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	20床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 498.2m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	50床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 136.1 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	173.7m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置3台、自動血液ガス分析装置2台、全自動血糖・ヘモグロビンA1c測定装置2台、			
細菌検査室	185 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 光学顕微鏡、安全キャビネット、全自動同定装置、全自動血液培養装置、			
病理検査室	343 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電子顕微鏡、密閉式自動包埋装置、自動免染装置、自動免疫免染装置、局所廃棄装置切り出し台、局所廃棄装置付検体保管庫、安全キャビネット等			
病理解剖室	63.3 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、高圧滅菌装置、ホルマリン希釈装置、臓器乾燥装置、遺体保存冷蔵庫、教育用カメラシステム等			
研究室	3,249 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット、電子顕微鏡、自動血液培養装置、質量分析装置等			
講義室	第3講義室 172m ² 第4講義室 389m ²	鉄筋コンクリート	室数	2室	収容定員 第3講義室：132人 第4講義室：312人	
図書室	142m ²	鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数 14,400冊程度	

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	88.5%	逆紹介率	57.6%
算出根拠 A: 紹介患者の数		16,865	人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		12,074	人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,675	人
D: 初診の患者の数		20,932	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
近本 亮	熊本大学病院	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
川添 志	山下・川添総合法律事務所		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
星田 美鈴			医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2
長谷川 ゆり	長崎大学病院 産科婦人科		その他学長が必要と認めた者	<input checked="" type="radio"/> 有・無	3

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表の方法	ホームページにて公表

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	1人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	6人
金属代替材料としてグラスファイバーで補強された高強度のコンポジットレジンをを用いた三ユニットブリッジ治療	4人
腹腔鏡下広汎子宮全摘術	1人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断 不明熱(画像検査、血液検査及び尿検査により診断が困難なものに限る。)	10人
アルテプラゼ静脈内投与による血栓溶解療法 急性脳梗塞(当該疾病の症状の発症時刻が明らかでない場合に限る。)	2人
切除支援のための気管支鏡下肺マーキング法	2人
ペムトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	0人
インターフェロン α 皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	0人
ニボルマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の併用療法	0人
ハイバードライヒト乾燥羊膜を用いた外科的再建術 再発翼状片(増殖組織が角膜輪部を超えるものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	脳死両肺・片肺移植術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 全国9施設でしか実施できない高度医療である。血液型と肺のサイズの適合した脳死ドナーの両肺を摘出しフラッシング後速やかに長崎大学に搬送する。レシピエントの両肺を摘出するため人工心肺が必要で、摘出されたドナー肺が到着後滞りなく片方ずつ移植手技を完了させる。肺の虚血許容時間は8時間と短く、摘出から搬送、移植手術まで高度な医療技術と知識を必要とする。			
医療技術名	小児ヒルシュスプルング病に対する腹腔鏡下手術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 ヒルシュスプルング病に対し、従来の開腹手術に比較して侵襲の低い腹腔鏡手術を選択する			
医療技術名	小児先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡下手術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 先天性胆道拡張症に対し、侵襲性・術後回復・合併症などの見地から、より低侵襲である腹腔鏡手術を選択する			
医療技術名	重症の円形脱毛症に対するステロイド点滴静注パルス療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 重症の円形脱毛症患者にステロイドの点滴静注パルス療法を行うことで、低い副作用で効果的な治療を行うことが可能である			
医療技術名	小児の円形脱毛症に対するエキシマライト治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 治療選択肢が少ない小児の円形脱毛症患者に対して安全に簡便に行うことができるエキシマライトによる光線治療を試みる			
医療技術名	蜂アレルギーの減感作療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 蜂アレルギー患者において、ホリスター社のハチアレルゲンを用いて、急速減感作および維持療法を行った。ハチ2匹分のアレルゲンを皮下注射しても全身症状は惹起されず、効果が認められる。			
医療技術名	色素性乾皮症の迅速診断	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 色素性乾皮症の診断のため、患者由来培養皮膚線維芽細胞に、既知NER遺伝子(XPA~XPG)のcDNAを発現するレンチウイルスを感染させ、不定期DNA合成(UDS)試験及びRNA合成回復(RRS)試験を実施し、相補された遺伝子を疾患責任遺伝子として一義的に決定する			
医療技術名	乳房外パジェット癌に対するドセタキセル療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 遠隔転移やリンパ節転移を伴う乳房外パジェット病に対し、monthly docetaxel療法を行っている。使用例において腫瘍の縮小が認められる。			
医療技術名	肝移植(生体、脳死)	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要 1997年より肝移植開始、これまでに283件施行している。平成29年度は生体19件/脳死3件施行した			
医療技術名	膵腎同時移植(脳死)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 2017年度より開始。脳死下提供された膵腎を同時に移植する。腎臓移植は泌尿器科が担当である。			
医療技術名	Rituximabによる抗HLA抗体陽性腎移植における脾臓摘出回避	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 Rituximab使用によりドナー特異的HLA抗体陽性腎移植における抗体関連型拒絶反応を予防し、脾臓摘出を回避する治療			
医療技術名	移植後抗体関連型拒絶反応に対するrituximab療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 抗ドナー特異的抗体による腎移植後抗体関連型拒絶反応に対するrituximabの臨床応用			
医療技術名	歯科用金属アレルギー成分分析	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 歯科用金属アレルギーまたはその疑い患者において、口腔内の金属を除去すること無く、ごく一部を採取するのみでその成分分析を行う方法。補綴物の除去をしないで検査可能なため、患者に余分な負担をかけることなく実施可能である。また該当しない金属の不必要な除去を避けることができる。			

医療技術名	インプラント併用義歯	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 通常の義歯では維持安定が困難な義歯症例に対し歯科用インプラントを併用することにより義歯の維持安定および残存歯の保護機能改善したもの。			
医療技術名	磁性アタッチメント義歯	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 天然歯の歯根に磁性アタッチメントを応用し、残存歯根と歯槽骨の保護。義歯安定および審美性の改善を図った義歯			
医療技術名	顎義歯	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 顎骨腫瘍等により生じた顎骨欠損に対し義歯で補綴を行った症例			
医療技術名	軟質リライン義歯	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 疼痛過敏や慢性疼痛を有する可撤性義歯適応患者に対し、従来材料よりも劣化の少ない軟質リライン材を応用した症例			
医療技術名	顎運動検査	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 顎位不安定や顎関節症など顎機能異常を有する患者において、または義歯製作前後の機能レベルに関して下顎運動解析を装置を用いて評価し補綴治療を実施した症例			
医療技術名	CAD/CAM冠	取扱患者数	34人
当該医療技術の概要 CAD/CAM技術を応用した補綴物を適応した症例			
医療技術名	オールセラミック冠/ブリッジおよびラミネートベニア	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 ジルコニアやニケイ酸リチウムなどを用いたオールセラミックによる審美補綴治療			
医療技術名	フレンジ・ピエゾグラフィー応用義歯	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 顎堤高度吸収により義歯の安定が得られない患者に対しニュートラルゾーン記録により安定を図った症例			
医療技術名	バルーン肺動脈形成術(BPA)	取扱患者数	34人
当該医療技術の概要 栓塞性肺高血圧症患者の血栓閉塞病変などにバルーンを用いて肺動脈の再開通を行う			
医療技術名	肺静脈隔離術	取扱患者数	65人
当該医療技術の概要 心房細動治療のためのカテーテルアブレーション手技			
医療技術名	ロータブレード(高速回転冠動脈アテレクトミー)による冠動脈形成術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 冠動脈狭窄をロータブレードで削り、その後、バルーンやステントで冠動脈形成術を施行			
医療技術名	経カテーテル大動脈弁置換術	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 経カテーテル人工生体弁セットを用いて大動脈弁置換術を実施			
医療技術名	リンパ管静脈吻合術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 原発性リンパ浮腫あるいは悪性腫瘍のリンパ節郭清後のリンパ浮腫に対するリンパ管と静脈のバイパス手術			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	7	56	ベーチェット病	86
2	筋萎縮性側索硬化症	22	57	特発性拡張型心筋症	87
3	脊髄性筋萎縮症	2	58	肥大型心筋症	45
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	15	60	再生不良性貧血	32
6	パーキンソン病	99	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	4	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	44
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	9
11	重症筋無力症	102	66	IgA腎症	33
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	18
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	61	68	黄色靱帯骨化症	19
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	15	69	後縦靱帯骨化症	83
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	7
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	68
17	多系統萎縮症	15	72	下垂体性ADH分泌異常症	21
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	44	73	下垂体性TSH分泌亢進症	4
19	ライソゾーム病	6	74	下垂体性PRL分泌亢進症	10
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	8
21	ミトコンドリア病	15	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	52	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	19
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	50
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	12	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
27	特発性基底核石灰化症	1	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	2	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	88
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	41
31	ベスレムミオパチー	1	86	肺動脈性肺高血圧症	20
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	29
34	神経線維腫症	22	89	リンパ管筋腫症	8
35	天疱瘡	18	90	網膜色素変性症	31
36	表皮水疱症	6	91	バッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	9	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	69
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	5
40	高安動脈炎	42	95	自己免疫性肝炎	11
41	巨細胞性動脈炎	3	96	クローン病	179
42	結節性多発動脈炎	21	97	潰瘍性大腸炎	212
43	顕微鏡的多発血管炎	53	98	好酸球性消化管疾患	6
44	多発血管炎性肉芽腫症	23	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	7	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	41	101	腸管神経節細胞減少症	1
47	バージャー病	7	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	333	104	コストロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	108	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	147	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	73	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	33	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	11	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	6
113	筋ジストロフィー	6	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	3
118	脊髄髄膜瘤	1	168	エーラス・ダンロス症候群	1
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170	オキシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	4
122	脳表ヘモジドリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	1
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	膵耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	2	191	ウェルナー症候群	3
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	2	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	21	208	修正大血管転位症	1
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	2

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
0	左心低形成症候群	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
1	三尖弁閉鎖症	260	シトステロール血症	0
0	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	261	タンジール病	0
0	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	262	原発性高カイロミクロン血症	0
1	ファロー四徴症	263	脳腫黄色腫症	1
0	両大血管右室起始症	264	無 β リポタンパク血症	0
0	エプスタイン病	265	脂肪萎縮症	1
0	アルポート症候群	266	家族性地中海熱	11
0	ギャロウェイ・モフト症候群	267	高IgD症候群	0
4	急速進行性糸球体腎炎	268	中條・西村症候群	0
0	抗糸球体基底膜腎炎	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
19	一次性ネフローゼ症候群	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
2	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	271	強直性脊椎炎	23
2	紫斑病性腎炎	272	進行性骨化性線維異形成症	0
0	先天性腎性尿崩症	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
8	間質性膀胱炎(ハンナ型)	274	骨形成不全症	0
2	オスラー病	275	タナトフォリック骨異形成症	0
0	閉塞性細気管支炎	276	軟骨無形成症	0
4	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
0	肺胞低換気症候群	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
0	α 1-アンチトリプシン欠乏症	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
0	カーニー複合	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
0	ウォルフラム症候群	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	5
0	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
0	副甲状腺機能低下症	283	後天性赤芽球癆	5
0	偽性副甲状腺機能低下症	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
0	副腎皮質刺激ホルモン不応症	285	ファンコニ貧血	0
3	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
0	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	287	エプスタイン症候群	0
0	フェニルケトン尿症	288	自己免疫性出血病XIII	0
0	高チロシン血症1型	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
0	高チロシン血症2型	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
0	高チロシン血症3型	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
0	メーブルシロップ尿症	292	総排泄腔外反症	0
0	プロピオン酸血症	293	総排泄腔遺残	0
1	メチルマロン酸血症	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
0	イソ吉草酸血症	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
0	グルコーストランスポーター1欠損症	296	胆道閉鎖症	5
0	グルタル酸血症1型	297	アラジール症候群	0
0	グルタル酸血症2型	298	遺伝性隣炎	0
0	尿素サイクル異常症	299	嚢胞性線維症	0
0	リジン尿性蛋白不耐症	300	IgG4関連疾患	0
0	先天性葉酸吸収不全	301	黄斑ジストロフィー	3
0	ポルフィリン症	302	レーベル遺伝性視神経症	0
0	複合カルボキシラーゼ欠損症	303	アッシュヤー症候群	0
0	筋型糖原病	304	若年発症型両側性感音難聴	0
1	肝型糖原病	305	遅発性内リンパ水腫	0
0	ガラクトース-1-リン酸ウリシルトランスフェラーゼ欠損症	306	好酸球性副鼻腔炎	5

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・感染防止対策加算1
・歯科外来診療環境体制加算	・感染防止対策地域連携加算
・歯科診療特別対応連携加算	・抗菌薬適正使用支援加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟 7対1)	・患者サポート体制充実加算
・特定機能病院入院基本料(結核病棟 7対1)	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟 13対1)	・ハイリスク妊娠管理加算
・臨床研修病院入院診療加算	・ハイリスク分娩管理加算
・救急医療管理加算	・入退院支援加算1
・超急性期脳卒中加算	・入退院支援加算3
・妊産婦緊急搬送入院加算	・入院時支援加算
・診療録管理体制加算1	・認知症ケア加算1
・医師事務作業補助体制加算1(50対1)	・精神疾患診療体制加算
・急性期看護補助体制加算(50対1)	・呼吸ケアチーム加算
・看護職員夜間12対1配置加算2	・後発医薬品使用体制加算2(80%以上85%未満)
・看護補助加算2(精神病棟 50対1)	・病棟薬剤業務実施加算1
・療養環境加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・重症者等療養環境特別加算	・データ提出加算2
・無菌治療室管理加算1	・地域歯科診療支援病院入院加算
・無菌治療室管理加算2	・救命救急入院料1
・緩和ケア診療加算	・特定集中治療室管理料2
・精神病棟入院時医学管理加算	・早期離床・リハビリテーション加算
・精神科身体合併症管理加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・精神科リエゾンチーム加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・がん診療連携拠点病院加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・栄養サポートチーム加算	・小児入院医療管理料2
・医療安全対策加算1	・小児入院医療管理料2(プレイルーム加算)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・医療機器安全管理料1
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行期加算)	・医療機器安全管理料2
・慢性維持透析患者外来医学管理料の注3の加算 腎代替療法実績加算	・在宅療養後方支援病院
・喘息治療管理料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・外来緩和ケア管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・がん患者指導管理料イ	・持続血糖測定器加算
・がん患者指導管理料ロ	・造血器腫瘍遺伝子検査
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・遺伝学的検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)／抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・糖尿病合併症管理料	・HPV核酸検出
・糖尿病透析予防指導管理料	・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・国際標準検査管理加算
・院内トリアージ実施料	・遺伝カウンセリング加算
・外来放射線照射診療料	・検体検査管理加算(IV)
・ニコチン依存症管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・療養・就労両立支援指導料の注2に規定する相談体制充実加算	・植込型心電図検査
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・時間内歩行試験／シャトルウォーキングテスト
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・胎児心エコー法
・がん治療連携計画策定料	・皮下連続式グルコース測定
・がん治療連携管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・認知症専門診断管理料	・神経学的検査
・肝炎インターフェロン治療計画料	・補聴器適合検査
・排尿自立指導料	・ヘッドアップティルト試験
・薬剤管理指導料	・ロービジョン検査判断料
・検査・画像情報提供加算／電子的診療情報評価料	・小児食物アレルギー負荷検査

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・内服・点滴誘発試験	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)	・医療保護入院等診療料
・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)
・CT撮影/MRI撮影	・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)
・冠動脈CT撮影加算	・人工腎臓
・外傷全身CT加算	・導入期加算2
・大腸CT撮影加算	・透析液水質確保加算
・心臓MRI撮影加算	・一酸化窒素吸入療法
・乳房MRI撮影加算	・処置の休日加算1/時間外加算1/深夜加算1
・小児鎮静下MRI撮影加算	・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・画像診断管理加算2	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・無菌製剤処理料	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・外来化学療法加算1	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)/脳刺激装置交換術
・(心大血管疾患リハビリテーション初期加算)	・仙骨神経刺激装置植込術/仙骨刺激装置交換術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・羊膜移植術
・(脳血管疾患等リハビリテーション初期加算)	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・歯科口腔リハビリテーション料2	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・運動器リハビリテーション料(I)	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・(運動器リハビリテーション初期加算)	・網膜再建術
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・人工中耳植込術
・(呼吸器リハビリテーション初期加算)	・人工中耳用材料
・がん患者リハビリテーション料	・人工内耳植込術
・通院・在宅精神療法(児童思春期精神科専門管理加算)	・植込型骨導補聴器移植術/植込型骨導補聴器交換術
・精神科作業療法	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)/下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・ダメージコントロール手術
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)/乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及び2	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈の塞栓術
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・同種死体肺移植術	・体外衝撃波胆石破碎術
・生体部分肺移植術	・腹腔鏡下肝切除術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)/内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術/胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・生体部分肝移植術
・内視鏡下筋層切開術	・同種死体肝移植術
・経皮的冠動脈形成術	・体外衝撃波胝石破碎術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下胝腫瘍摘出術
・経皮的冠動脈ステント留置術	・腹腔鏡下胝体尾部腫瘍切除術
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下胝頭十二指腸切除術
・胸腔鏡下弁置換術	・同種死体胝移植術
・経カテーテル大動脈弁置換術	・同種死体胝腎移植術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ペースメーカー移植術/ペースメーカー交換術	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・ペースメーカー移植術/ペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・植込型心電図記録計移植術/植込型心電図記録計摘出術	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術
・両心室ペースメーカー移植術/両心室ペースメーカー交換術	・腹腔鏡下小切開腎摘出術
・植込型除細動器移植術/植込型除細動器交換術	・腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術/両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・補助人工心臓	・同種死体腎移植術
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・生体腎移植術
・経皮的大動脈遮断術	・膀胱水圧拡張術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・1回線量増加加算(前立腺照射)
・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・定位放射線治療
・人工尿道括約筋植込・置換術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・画像誘導密封小線源治療加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・デジタル病理画像による病理診断
・腹腔鏡下仙骨腔固定術	・病理診断管理加算2
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・保険医療機関間の連携による病理診断
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・輸血管理料 I	・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・歯科治療時医療管理料
・自己生体組織接着剤作成術	・歯科訪問診療料の注13に規定する基準
・自己クリオプレシテート作製術	・有床義歯咀嚼機能検査1のイ/ロ
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・有床義歯咀嚼機能検査2のイ/ロ
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・咀嚼能力検査
・手術の休日加算1/時間外加算1/深夜加算1	・咬合圧検査
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・精密触覚機能検査
・麻酔管理料(I)	・歯科画像診断管理加算1
・麻酔管理料(II)	・歯科画像診断管理加算2
・放射線治療専任加算	・手術用顕微鏡加算
・外来放射線治療加算	・歯根端切除手術の注3
・高エネルギー放射線治療	・口腔粘膜処置
・1回線量増加加算(全乳房照射)	・歯周組織再生誘導手術
・強度変調放射線治療(IMRT)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)/下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・体外照射呼吸性移動対策加算	・レーザー機器加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・クラウン・ブリッジ維持管理料	
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	
・CAD/CAM冠	
・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2	
・歯科矯正診断料	
・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	
・口腔病理診断管理加算2	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・食道アカラシア等に対する経口内視鏡的筋層切開術	・
・有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
 (注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	13
剖 検 の 状 況	剖検症例数 27 例 / 剖検率 9.8 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
遺伝子搭載自己組織化ナノデバイスを応用した新規骨再生基質の開発	朝比奈 泉	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	8,000,000	日本学術振興会
異種-脱細胞化組織骨格の再細胞化による、再生気管、再生肺の移植研究	土谷 智史	腫瘍外科学(第一外科)	2,000,000	日本学術振興会
荷重環境下インプラント周囲の骨細胞による骨質制御機構を解明する	澤瀬 陸	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	3,000,000	日本学術振興会
脳内神経伝達物質をターゲットとした摂食機能障害の病因・病態の解明とその治療戦略	吉田 教明	矯正歯科(歯科矯正学)	3,100,000	日本学術振興会
光触媒機能と治癒促進機能をもつダイナミック印象応用型光重合軟質リジン材の開発	村田 比呂司	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	8,200,000	日本学術振興会
口腔健康状態は4大死因につながる生活習慣病へ影響するか? : 五島コホート研究	齋藤 俊行	口腔保健学(予防歯科)	3,200,000	日本学術振興会
先天性風疹症候群は今後も脅威であり続けるのか? : ベトナムにおけるレッスン	森内 浩幸	小児科学	4,700,000	日本学術振興会
ケニア無歯科医地域での部族間を横断した統合型口腔環境疫学データの構築と活用	福田 英輝	口腔保健学(予防歯科)	2,600,000	日本学術振興会
肺高血圧症の早期診断における新規酸化ストレスマーカーの探索的検討	池田 聡司	循環器内科	900,000	日本学術振興会
ハイブリッド人工胆管構築技術を基盤とした術後胆管狭窄予防	曾山 明彦	移植・消化器外科(第二外科)	1,100,000	日本学術振興会
肺腺癌の発症に寄与する遺伝子変異の検索	福島 喜代康	呼吸器内科(第二内科)	1,500,000	日本学術振興会
高品質な地域完結型医療に向けたICTネットワーク型地域連携バスの開発と評価	松本 武浩	医療情報部	1,000,000	日本学術振興会
AMPK活性化とGSK3阻害によるワールブルグ効果抑制を介した肝癌制御の基礎検討	中尾 一彦	消化器内科	900,000	日本学術振興会
MRIで関節リウマチの軟骨傷害を評価し軟骨再生医療につなげる基盤研究	玉井 慎美	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	1,000,000	日本学術振興会
CTLA-4-Igの新たな作用を解析し次世代の治療標的の探索に繋げる基盤研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	1,100,000	日本学術振興会
マイクロバイオーム解析に基づく高齢者肺炎の病態解明と革新的予防法への展開	柳原 克紀	病態解析・診断学(臨床検査医学)	800,000	日本学術振興会
難治性真菌感染症の克服を目指した新規治療戦略の開発	宮崎 泰可	感染症内科(第二内科)	800,000	日本学術振興会
尿路癌の新たな治療標的および予後予測因子としてのFes/Ferに関する網羅的検討	竹原 浩介	泌尿器科	1,200,000	日本学術振興会
陣痛発来に関連するmRNA/microRNAの同定とその臨床的意義に関する研究	三浦 生子	産科婦人科	1,000,000	日本学術振興会
眼内増殖性疾患における分子メカニズムの解明およびコハク酸の役割	北岡 隆	眼科	1,200,000	日本学術振興会
Runx2のGalnt3発現制御を介したリン代謝調節の生理的意義の検証	六反田 賢	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	1,200,000	日本学術振興会
高b値拡散強調MRIを用いた細胞評価に基づく頭頸部腫瘍診断法の確立	角 美佐	歯科放射線学	1,200,000	日本学術振興会
光合成モデルのバイオインスパイアード材料を接着強化に用いる破折歯根の保存再生	平 曜輔	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	100,000	日本学術振興会
OFCD症候群における乳歯歯根吸収不全と長根形成に対する生化学的研究	西口 美由季	小児歯科学	800,000	日本学術振興会
薬剤による歯周炎ならびにインプラント周囲炎の予防に関する実験病理学的研究	原 宜典	歯周病学(歯科保存学第二)	1,300,000	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
歯周病と糖尿病によるNASH肝がん発症機序における相互作用解析	古堅 麗子	口腔保健学 (予防歯科)	1,100,000	日本学術振興会
心拍間隔変動パワースペクトルによる術中自律神経状態解析-外科修練の最適化へ向けて	山之内 孝彰	移植・消化器外科(第二外科)	800,000	日本学術振興会
ゲノム不安定性が解き明かす非アルコール性脂肪性肝炎の発癌ポテンシャル	赤澤 祐子	病理学 (臨床病理学)	1,400,000	日本学術振興会
"バイオニア転写因子"IRF4を標的にした1型糖尿病の治療探索	阿比留 教生	リウマチ・膠原病内科学 (第一内科)	1,300,000	日本学術振興会
マイクロバイーム解析による慢性肺アスペルギルス症の新規治療開発の試み	泉川 公一	感染制御教育センター	1,000,000	日本学術振興会
酸素ナノバブルを使用した細胞培養および3次元構造物における新たな培養方法の開発	武岡 陽介	腫瘍外科学 (第一外科)	1,200,000	日本学術振興会
脳梗塞に対する幹細胞療法のシナプス増生のメカニズムの解明	日宇 健	脳神経外科	1,200,000	日本学術振興会
癌間質浸潤細胞におけるPGE2受容体を標的にした去勢抵抗性前立腺癌治療の検討	酒井 英樹	泌尿器科	1,200,000	日本学術振興会
分子イメージングを用いたPLA2欠損マウスにおける骨代謝異常解析	片山 郁夫	歯科放射線学	1,200,000	日本学術振興会
天然生理活性ペプチドのヒト歯髓由来幹細胞培養・移植による骨再生能の解析	山田 志津香	歯蝕学 (歯科保存学第一)	1,600,000	日本学術振興会
自己組織化機能を有するヒト由来iPS細胞を用いた歯髓組織再生の具現	池田 毅	歯蝕学 (歯科保存学第一)	1,000,000	日本学術振興会
非晶質シリカ膜コーティングによるインプラントアパトメント表面の機能化	尾立 哲郎	口腔インプラント学 (歯科補綴学第一)	1,100,000	日本学術振興会
歯石によるインフラマソーム活性化機構の解明とその阻害薬を用いた歯周組織破壊の抑制	吉村 篤利	歯周病学 (歯科保存学第二)	1,200,000	日本学術振興会
血中cell-free DNAの基準範囲及び測定前変動要因の決定	宇野 直輝	病態解析・診断学(臨床検査医学)	1,000,000	日本学術振興会
各種心筋症の診断および臨床像における心筋病理組織評価の有用性の検討	河野 浩章	循環器内科	1,600,000	日本学術振興会
循環器疾患における時計遺伝子Clif/Bmal2の役割の解明	前村 浩二	循環器内科	1,600,000	日本学術振興会
特発性間質性肺炎の病態における自己抗体の関与	迎 寛	呼吸器内科 (第二内科)	1,100,000	日本学術振興会
NETsをターゲットとした肺線維化の制御	坂本 暁穂	呼吸器内科 (第二内科)	800,000	日本学術振興会
ループス腎炎における免疫学的機序を介したポドサイトの機能解析	一瀬 邦弘	神経内科学 (第一内科)	1,400,000	日本学術振興会
高システロール血症における臨床的、分子遺伝学的研究	伊達木 遼人	小児科学	1,200,000	日本学術振興会
繊毛機能不全症として捉えた正常圧水頭症多発家系の分子遺伝解析と新規治療薬の開発	黒滝 直弘	精神科神経科	1,100,000	日本学術振興会
抗原性を消失させた肝細胞シート移植による免疫寛容導入の試み	高槻 光寿	移植・消化器外科(第二外科)	900,000	日本学術振興会
自己細胞および幹細胞を用いた人工食道作製による再生医療	谷口 大輔	腫瘍外科学 (第一外科)	1,800,000	日本学術振興会
肺移植に対する超高密度酸素ナノバブルを使用した新たな臓器保存液の開発	郎家 聖史	腫瘍外科学 (第一外科)	1,800,000	日本学術振興会
初代培養細胞とin vitro血液脳関門モデルを用いたがん脳転移メカニズムの解明	氏福 健太	脳神経外科	1,400,000	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
悪性神経膠腫浸潤開始因子の脳血液関門モデルを用いた探索	松尾 孝之	脳神経外科	1,600,000	日本学術振興会
日本人女性における皮質骨多孔性の発生に関する研究:HR-pQCTによる横断調査	千葉 恒	整形外科	2,200,000	日本学術振興会
臓器保護指向型鎮静法の開発:デクスメトミジンの心保護作用	原 哲也	麻酔科	1,200,000	日本学術振興会
新規糖尿病治療薬であるSGLT2阻害薬の心保護作用への影響と細胞内機序	一ノ宮 大雅	麻酔科	1,300,000	日本学術振興会
胎盤機能における胎盤由来間葉系幹細胞・エクソソームの役割と臨床的意義に関する研究	三浦 清徳	産科婦人科	1,600,000	日本学術振興会
異所性妊娠の鑑別診断に有用な分子マーカーの同定と臨床応用に関する研究	増崎 英明	産科婦人科	2,200,000	日本学術振興会
頸部リンパ節診断のための画像診断報告データシステム	榮田 智	歯科放射線学	700,000	日本学術振興会
シェーグレン症候群唾液腺における超音波画像診断国際基準試案策定	高木 幸則	歯科放射線学	800,000	日本学術振興会
Micro-graftを用いた培養操作を介さない骨再生法の確立	大場 誠悟	口腔・顎・顔面インプラントセンター	2,000,000	日本学術振興会
歯根吸収発症における細胞内小器官分解機構を有する12/15-LOXの関与	佛坂 斉社	矯正歯科 (歯科矯正学)	1,900,000	日本学術振興会
スーパーマイクロ手術とバイオ3Dプリンティングによる、ハイブリッドリンパ浮腫治療	高木 克典	腫瘍外科学 (第一外科)	1,100,000	日本学術振興会
高齢者が安全に実施できる新しい明頭期嚥下リハビリ手技の評価	小山 善哉	口腔保健学 (予防歯科)	500,000	日本学術振興会
尿中免疫複合体の網羅的な解析結果に基づく尿路癌の新たな尿路再発予測モデルの構築	宮田 康好	泌尿器科	800,000	日本学術振興会
胚培養液中における受精胚由来microRNAの同定とその臨床的意義に関する研究	村上 優子	産科婦人科	1,200,000	日本学術振興会
唾液分泌促進機能を有するドライマウス義歯患者用粘膜炎性口腔保湿ジェルの創製	村田 比呂司	歯科補綴学 (歯科補綴学第二)	900,000	日本学術振興会
骨誘導性exosomeによる遺伝子送達機能を付与した新規人工骨材料の開発	朝比奈 泉	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,300,000	日本学術振興会
6自由度顎運動と生体情報の同時計測による咀嚼・嚥下制御メカニズム解明への新展開	吉田 教明	矯正歯科 (歯科矯正学)	800,000	日本学術振興会
新規ex vivo肺癌研究モデルとしての小型ヒト再生肺の創出	土谷 智史	腫瘍外科学 (第一外科)	2,400,000	日本学術振興会
骨細胞を基軸とするオートファジー誘導性優先配向制御機構の解明	澤瀬 陸	口腔インプラント学 (歯科補綴学第一)	1,600,000	日本学術振興会
肝細胞-内皮細胞索状組織移植による肝小葉構造を模倣した立体ヒト肝臓の創製	堺 裕輔	移植・消化器外科(第二外科)	3,000,000	日本学術振興会
乳癌術前化学療法におけるクローン交替が治療効果に与える影響の解析とその克服	及川 将弘	腫瘍外科学 (第一外科)	600,000	日本学術振興会
銀ナノ微粒子を用いた抗菌効果を有する軟質ライン材の新規開発	江越 貴文	歯科補綴学 (歯科補綴学第二)	1,000,000	日本学術振興会
PET/SPECT/CTイメージングによる肺アスペルギルス症診断法の開発	田代 将人	感染制御教育センター	600,000	日本学術振興会
女性特有のサルコペニア発症メカニズムの解明と治療応用	北島 百合子	産科婦人科	1,100,000	日本学術振興会
MicroRNAによる種々の細胞レベルでの関節リウマチの病態修飾の試み	岩本 直樹	リウマチ・膠原病内科学 (第一内科)	1,200,000	日本学術振興会

小計 25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
皮膚創傷断端表皮細胞における上皮間葉移行の機序解明	小池 雄太	皮膚科	1,400,000	日本学術振興会
インビードン法を用いた肝脂肪率の新規評価手法	原 貴信	移植・消化器外科(第二外科)	1,000,000	日本学術振興会
妊娠がHTLV-1キャリアに及ぼす影響についての基礎的研究	瀧 直樹	産科婦人科	1,500,000	日本学術振興会
体性幹細胞ホーミング因子を用いた新規根管充填法の開発	松裏 貴史	蝕蝕学(歯科保存学第一)	1,600,000	日本学術振興会
抗真菌性および易除去性を有するクリームタイプ義歯安定剤の開発	吉田 和弘	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	700,000	日本学術振興会
血管内皮前駆細胞移植によるBRONJの病因解明と標的分子同定による新治療法の開発	中島 和慶	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,300,000	日本学術振興会
新規培養法による末梢血濃縮細胞群由来エクソソームを用いた萎縮唾液腺再生療法の実験	井 隆司	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,500,000	日本学術振興会
ナノバイオガラス-低接着性コラーゲンを応用した高機能遺伝子活性化基質の創成	三浦 桂一郎	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,900,000	日本学術振興会
胸腺上皮性腫瘍の遺伝学的背景の解明と個別化治療への応用	山口 博之	呼吸器内科(第二内科)	900,000	日本学術振興会
フィリピン マニラにおけるレプトスピラ症の病態解明と包括的マネジメント法の確立	北庄司 絵美	熱研内科	1,800,000	日本学術振興会
胎児機能と関連する分子マーカーの同定とその臨床的意義に関する研究	東島 愛	産科婦人科	2,300,000	日本学術振興会
投与細胞の若返りを目指した脳梗塞に対する幹細胞移植投与方法の確立	山口 将	脳神経外科	1,800,000	日本学術振興会
骨におけるリンと老化とオートファジーの解析	佐々木 宗輝	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,600,000	日本学術振興会
T細胞が抜歯窩治癒とオッセオインテグレーションに与える影響を解明する	松本 知生	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,500,000	日本学術振興会
ナノサイズ骨基質と骨特異的遺伝子導入による骨再生	梅林 真由美	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,600,000	日本学術振興会
間葉系幹細胞分泌エクソソームの骨分化・骨再生への役割	河井 洋祐	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,800,000	日本学術振興会
口腔癌に対するセツキシマブの治療効果を高めるための薬剤感受性制御機構の解明	鳴瀬 智史	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	2,000,000	日本学術振興会
舌等尺性トレーニングによる舌形態の変化が閉塞型睡眠時無呼吸の病態に及ぼす影響	坂本 由紀	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	1,400,000	日本学術振興会
航空力学を応用した3次元ベクトル解析による静脈内鎮静法の最適鎮静レベルの解明	讃岐 拓郎	歯科麻酔学	1,200,000	日本学術振興会
歯槽骨リモデリング速度の定量化による長期的な歯の移動予測・可視化システムの開発	富水 淳也	矯正歯科(歯科矯正学)	2,100,000	日本学術振興会
抗菌薬の口腔内局所投与による食道がん術後肺炎の予防:多施設共同ランダム化比較試験	川北 晃子(宇田晃子)	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	1,500,000	日本学術振興会
認知症高齢者および高度障がい者における歯科関連ストレスの客観的指標にもとづく検証	井川 一成	蝕蝕学(歯科保存学第一)	2,300,000	日本学術振興会
肺指向性ナノパーティクルPNAG-DNAワクチンによる肺感染症の発症/重症化予防	賀来 敬仁	病態解析・診断学(臨床検査医学)	1,300,000	日本学術振興会
肺胞マクロファージ免疫に着目した非結核性抗酸菌症の病原性の解明	井手 昇太郎	呼吸器内科(第二内科)	1,200,000	日本学術振興会
アパタイトをナノセラミックエアロゾルで置換する新しい歯面コーティングの基礎的研究	生駒 玲奈	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	2,800,000	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ポルフィロモナス・エンドトキシリスにおける菌体外ペプチド分解機構の解明	西俣 はるか	小児歯科学	1,600,000	日本学術振興会
骨系細胞分化と炎症性疾患でのリソソーム転写因子の役割	米嶋 枝里香	矯正歯科 (歯科矯正学)	1,100,000	日本学術振興会
パーキンソン病モデルマウスを用いた摂食・嚥下障害発症のメカニズム解明と治療戦略	吉見 知子	矯正歯科 (歯科矯正学)	1,100,000	日本学術振興会
医療材料へのバイオフィーム形成を抑制する新規コーティング材の開発	吉田 衣里	腫瘍外科学 (第一外科)	1,100,000	日本学術振興会
便移植による脂肪肝改善と肝再生促進の検討	岡田 怜美	移植・消化器外科学	570,000	日本学術振興会
トルコと日本の自己炎症疾患発症責任分子複合体を活性化する生体・環境因子の比較調査	川上 純	リウマチ・膠原病内科学 (第一内科)	200,000	日本学術振興会
食品成分からの口腔がん予防活性化合物の探索法確立と単離同定	梅田 正博	口腔外科学第一	20,000	日本学術振興会
老化促進因子C1qによるWntシグナル活性化を基盤とした歯周炎発症機序の解明	原 宜典	歯科保存学第二	50,000	日本学術振興会
スーパーマイクロ手術とバイオ3Dプリンティングによる、ハイブリッドリンパ浮腫治療	永安 武	腫瘍外科学 (第一外科)	50,000	日本学術振興会
スーパーマイクロ手術とバイオ3Dプリンティングによる、ハイブリッドリンパ浮腫治療	松本 桂太郎	腫瘍外科学 (第一外科)	50,000	日本学術振興会
原発性胆汁性胆管炎の肝不全進行におけるカテプシンZの役割の解明	高槻 光寿	移植・消化器外科(第二外科)	80,000	日本学術振興会
自己炎症バイオマーカーによるリウマチ性疾患の新たな分類と治療法の確立	川上 純	リウマチ・膠原病内科学 (第一内科)	50,000	日本学術振興会
自己体性幹細胞の多軸的制御と可視的評価による委縮頸骨の増生治療開発	朝比奈 泉	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	100,000	日本学術振興会
国民に広く浸透する肺炎予防のオーラルバイオフィームを除去する新しい方法の開発	村田 比呂司	歯科補綴学 (歯科補綴学第二)	387,000	日本学術振興会
P. melaninigenicaの誤嚥性肺炎病原因子の同定と病態発症機序の解明	近藤 好夫	小児歯科学	50,000	日本学術振興会
脂肪幹細胞移植による肛門機能改善に関する研究	江口 晋	移植・消化器外科(第二外科)	1,200,000	日本学術振興会
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究	江口 晋	移植・消化器外科(第二外科)	19,500,000	厚生労働省
医療機関等における薬剤耐性菌の感染制御に関する研究	柳原 克紀	病態解析・診断学(臨床検査医学)	4,500,000	厚生労働省
じん肺エックス線写真による診断精度向上に関する研究	芦澤 和人	臨床腫瘍科	8,500,000	厚生労働省
ロボット型内視鏡操作支援システムのAIによる高度化と各種医療機器統合インターフェースとしての展開	江口 晋	移植・消化器外科(第二外科)	11,313,000	厚生労働省
非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究	江口 晋	移植・消化器外科(第二外科)	6,500,000	厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	竹中 基	皮膚科・アレルギー科	3,710,000	厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	川崎 五郎	口腔顎顔面外科室	420,000	厚生労働省
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究	中尾 一彦	消化器内科	500,000	厚生労働省
医療機関等における薬剤耐性菌の感染制御に関する研究	泉川 公一	感染制御教育センター	400,000	厚生労働省

小計 25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ソーシャルマーケティング手法を用いた心停止下臓器提供や小児の臓器提供を含む臓器提供の選択肢提示を行う際の理想的な対応のあり方の確立に関する研究	江口 晋	移植・消化器外科(第二外科)	250,000	補委 厚生労働省
ソーシャルマーケティング手法を用いた心停止下臓器提供や小児の臓器提供を含む臓器提供の選択肢提示を行う際の理想的な対応のあり方の確立に関する研究	中尾 一彦	消化器内科	250,000	補委 厚生労働省
脊椎関節炎の疫学調査・診断基準作成と診療ガイドライン策定を目指した大規模多施設研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	80,000	補委 厚生労働省
HAMならびにHTLV-1陽性難治性疾患に関する国際的な総意形成を踏まえた診療ガイドラインの作成	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	350,000	補委 厚生労働省
非癌、慢性炎症性リンパ節・骨髄異常を示すキャッスルマン病、TAFRO症候群その類縁疾患の診断基準、重症度分類の改正、診断・治療のガイドラインの策定に関する調査研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	100,000	補委 厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	430,000	補委 厚生労働省
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	小池 雄太	皮膚科	450,000	補委 厚生労働省
難治性聴覚障害に関する調査研究	高橋 晴雄	耳鼻咽喉科	500,000	補委 厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者のQOL向上に関する大規模多施設研究	尾崎 誠	整形外科	100,000	補委 厚生労働省
HTLV-1母子感染予防に関するエビデンス創出のための研究	森内 浩幸	小児科学	600,000	補委 厚生労働省
臨床データを元にした発作性運動誘発性舞踏アトーゼ(PKD)の発症機序の解明及び新規治療薬の開発	黒滝 直弘	精神科神経科	9,879,999	補 日本医療研究開発機構
真菌感染症の病態解明及び検査・治療薬の確立に関する研究	河野 茂	感染症内科(第二内科)	7,400,000	補 日本医療研究開発機構
家族性地中海熱(FMF)インフラマソームシグナル伝達異常をゲノム創薬で解決する開発研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	27,560,000	補 日本医療研究開発機構
シーズ探索研究から発展する家族性地中海熱(FMF)に対するトシリズムの医師主導治験	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	99,970,000	補 日本医療研究開発機構
薬剤耐性菌対策に資する診断法・治療法等の開発研究	柳原 克紀	病態解析・診断学(臨床検査医学)	9,000,000	補 日本医療研究開発機構
難治性唾液腺萎縮症に対する高機能細胞治療薬E-MNCに関する臨床研究	朝比奈 泉	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	34,500,000	補 日本医療研究開発機構
母子感染に対する母子保健体制構築と医療開発技術のための研究(①リアルタイムPCR法等による尿中のCMV検出による先天性感染の確定診断技術の普及 ②全新生児に対するCMVスクリーニング法に向けた検査体制の構築 ③治療薬医師自主臨床試験の立ち上げと承認薬国内承認に向けた取り組み ④新生児小児の診療ガイドラインの作成)	森内 浩幸	小児科学	1,300,000	補 日本医療研究開発機構
母子感染に対する母子保健体制構築と医療開発技術のための研究(①妊婦リスク診断法開発 ②安心で安全な妊娠・出産に向けた母子感染の感染予防と妊婦診療マニュアルの普及と母子医療相談体制の継続 ③予防策の有効性の研究と妊婦の診療ガイドラインの作成)	増崎 英明	産科婦人科	863,200	補 日本医療研究開発機構
原因診断に基づく小児難聴の治療・療育システム構築に関する研究(先天性CMV感染症例および内耳奇形症例に対する人工内耳の効果の検討)	高橋 晴雄	耳鼻咽喉科	600,000	補 日本医療研究開発機構
安全かつ有効な膵島細胞/間葉系幹細胞複合シートの皮下パッチ技術の開発(I型糖尿病モデルの作製、及び膵島細胞/間葉系幹細胞複合シート移植評価・術後管理)	江口 晋	移植・消化器外科(第二外科)	4,464,200	補 日本医療研究開発機構
多施設共同研究による移植後肝炎ウイルス再発に対する標準的治療の確立(拒絶反応を伴うC型肝炎再発に対するDAA治療)	江口 晋	移植・消化器外科(第二外科)	200,001	補 日本医療研究開発機構
ART早期化と長期化に伴う日和見感染症への対処に関する研究(HIV感染症に伴う日和見合併症・悪性腫瘍の全国調査)	泉川 公一	感染制御教育センター	800,000	補 日本医療研究開発機構
侵襲性酵母感染症の病原性解明と疫学・診断法・制御法の研究(クリプトコックス症の疾患感受性遺伝子の同定と発症予測ツールの開発)	泉川 公一	感染制御教育センター	2,000,000	補 日本医療研究開発機構
ヒトとウイルスのゲノム情報と臨床情報の統合によるHTLV-1関連疾患の診療支援全国ネットワークの確立(大規模前向きコホートを用いたHTLV-1関連疾患の発症に関わるリスク因子の解明)	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	5,400,000	補 日本医療研究開発機構
関節エコーによる関節リウマチ診療の最適化・標準化(関節エコーによる関節リウマチ診療の最適化・標準化)	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	2,600,000	補 日本医療研究開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
病理医下足を解決するWSIを用いた医療チームによるMedical Artsの創成研究(施設内ダブルチェックと施設間ダブルチェックの比較検討を行う研究)	福岡 順也	病理部	6,300,000	補 ◎ 日本医療研究開発機構
AI等の利活用を見据えた病理組織デジタル画像(WSI)の収集基盤整備と病理支援システム開発(AI等の利活用を見据えた病理組織デジタル画像(WSI)の収集基盤整備と病理支援システム開発)	福岡 順也	病理部	5,400,000	補 ◎ 日本医療研究開発機構
特発性間質性肺炎の診断精度向上とエビデンス創出のためのクラウド型統合データベースとインタラクティブ診断システムの開発に関する研究(インタラクティブMDD診断システムを用いたIIPsの疫学的解析)	福岡 順也	病理部	250,000	補 ◎ 日本医療研究開発機構
肝硬変患者の予後を含めた実態を把握するための研究(肝硬変患者の予後を含めた実態を把握するための研究)	中尾 一彦	消化器内科	420,000	補 ◎ 日本医療研究開発機構
HTLV-1の疫学研究及び総合対策に資する研究(国内の妊婦HTLV-1キャリアの発生動向に基づく感染制御対策)	増崎 英明	産科婦人科	1,400,000	補 ◎ 日本医療研究開発機構
ゲノム不安定性疾患群を中心とした希少難治性疾患の次世代マルチオミクス診断拠点構築(DNA修復アッセイの実施と診断センターの運用)	柳原 克紀	病態解析・診断学(臨床検査医学)	1,000,000	補 ◎ 日本医療研究開発機構
自己線維芽細胞による細胞プラグを用いた難治性瘻孔(気管支瘻、痔瘻、難治性皮膚瘻)の新たな治療法の開発	松本 桂太郎	腫瘍外科学(第一外科)	2,165,000	補 ◎ 日本医療研究開発機構
J-DREAMSコホートを利用した糖尿病患者の合併症進展に関する縦断研究	阿比留 教生	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	300,000	補 ◎ 国立国際医療センター
CRE肺炎マウスモデルにおけるカルパペネム系抗菌薬およびアミノグリコシド系抗菌薬の併用療法の有効性評価	柳原 克紀	検査部	3,000,000	補 ◎ 公益社団法人日本化学療法学会
障がい児のう蝕・歯周疾患等の歯科健診及びその評価と、障がい児のう蝕・歯周疾患等の予防に関する研究	藤原 卓	小児歯科学	363,000	補 ◎ 佐世保市
歯周疾患健診の実施及び評価と佐世保市の歯・口腔の健康づくりに関する研究	福田 英輝	口腔保健学(予防歯科)	1,000,000	補 ◎ 佐世保市
エストロゲンレセプター陽性再発乳癌を対象としたエベロリムス使用症例における口内炎予防のための歯科介入無作為化第Ⅲ相試験[研究略称名: Oral Care-BC]	梅田 正博	口腔外科学第一	64,800	補 ◎ 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
『佐世保市・口腔の健康づくり推進計画』の中間評価	福田 英輝	口腔保健学(予防歯科)	200,000	補 ◎ 佐世保市
シトルリン化ヒストンH3を標的とした重症病態の制御	田崎 修	救命救急センター	4,500,000	補 ◎ 委 日本学術振興会
微小環境での「幹細胞型」および「分化増殖型」がん細胞の増殖機構と制御因子の解析 環境での「幹細胞型」および「分化増殖型」がん細胞の増殖機構と制御因子の解析	二口 充	病理診断科・病理部	1,400,000	補 ◎ 委 日本学術振興会
HTLV-1キャリアクローン解析に基づく新規バイオマーカーの探索	長谷川 寛雄	検査部	500,000	補 ◎ 委 日本学術振興会
慢性肝疾患におけるロコモティブシンドロームの関連についての解明	田浦 直太	消化器内科	1,100,000	補 ◎ 委 日本学術振興会
α-Klothoの冠動脈プラーク組織性状評価における役割と臨床的意義の解明	古賀 聖士	循環器内科	1,300,000	補 ◎ 委 日本学術振興会
間質性肺炎に対する革新的分子標的治療法の確立	角川 智之	呼吸器内科(第二内科)	1,400,000	補 ◎ 委 日本学術振興会
Dual-energy CT画像を用いた肺高血圧患者の肺血流定量法の確立	末吉 英純	放射線科	600,000	補 ◎ 委 日本学術振興会
膵臓癌とその微小環境分子群との相互作用による腫瘍免疫システムへの包括的影響の解明	長井 一浩	細胞療法部	1,300,000	補 ◎ 委 日本学術振興会
気管の縫合不全や気管支断端瘻に対する再生医学を応用した新しい予防・治療法の開発	田浦 康明	腫瘍外科学(第一外科)	700,000	補 ◎ 委 日本学術振興会
臨床検体データによる肉腫様腎癌実験モデルの有用性の検討と新たな治療的探索	望月 保志	泌尿器科	1,700,000	補 ◎ 委 日本学術振興会
子宮内膜症の骨盤内慢性炎症が卵巣予備能を低下させる分子病理学的機序に関する研究	北島 道夫	産科婦人科	1,000,000	補 ◎ 委 日本学術振興会
癌着胎盤に関連するmRNA/microRNAの同定と臨床応用に関する研究	吉田 教	産科婦人科	800,000	補 ◎ 委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
窯業の上絵付技法を用いた固定性補綴装置の色調再現	田上 直美	特殊歯科総合治療部	800,000	日本学術振興会
ジルコニア焼結前のアルミナプラスティングは装着材の接着性と低温劣化を改善する	吉田 圭一	冠補綴治療室	700,000	日本学術振興会
医工連携による視線追尾システム開発で無影灯調整を自動化する	野上 朋幸	特殊歯科総合治療部	800,000	日本学術振興会
骨-リンパ系免疫システムを賦活化する脂肪由来幹細胞を用いたARONJ治療法の開発	黒崎 伸一郎	冠補綴治療室	1,100,000	日本学術振興会
口腔癌遠隔転移に関与する播種性腫瘍細胞を制御するmicroRNAに関する研究	柳本 惣市	口腔顎顔面外科室	1,200,000	日本学術振興会
歯周炎発症におけるNLRP3インフラマソームの関与	中村 弘隆	歯周病治療室	1,300,000	日本学術振興会
頭頸部姿勢制御と呼吸相制御に同期した随意運動介助型電気刺激療法の開発	鮎瀬てるみ	特殊歯科総合治療部	800,000	日本学術振興会
新規薬剤性肝障害バイオマーカーの探索および肝障害発症予測システムの確立	北原 隆志	薬剤部	1,300,000	日本学術振興会
miRNAの膠原病性肺動脈性肺高血圧症のバイオマーカーとしての有用性と役割の解明	江口 正倫	循環器内科	1,200,000	日本学術振興会
セロトニントランスポーター/セロトニン拮抗による急性肺障害の防御機構の解明	田中 健之	熱研内科 (感染症内科)	1,200,000	日本学術振興会
シェーグレン症候群におけるHTLV-1の作用点と分子機序を解明する多角的な研究	中村 英樹	リウマチ・膠原病内科 (第一内科)	1,200,000	日本学術振興会
甲状腺乳頭癌における新規リンパ節転移診断キットの開発	大坪 竜太	腫瘍外科 (第一外科)	2,300,000	日本学術振興会
肥満外科手術マウスを用いた減量効果における視床下部NPYシステムの解析	金高 賢悟	移植・消化器外科(第二外科)	1,400,000	日本学術振興会
人工赤血球が持つ肺虚血再還流障害抑制効果の臨床応用を目指した、臓器保護の研究	宮崎 拓郎	腫瘍外科 (第一外科)	1,100,000	日本学術振興会
敗血症性ショックと小腸粘膜障害 - 新規治療ターゲットとしての基盤確立 -	関野 元裕	集中治療部	1,400,000	日本学術振興会
虚血再灌流障害に対するGLP-1受容体の役割と心筋保護戦略	柴田 伊津子	麻酔科	1,200,000	日本学術振興会
前立腺癌ARスプライシングバリエントで活性化する新規アンドロゲン応答遺伝子の解明	志田 洋平	泌尿器科	1,300,000	日本学術振興会
妊娠初期の嚢胞化絨毛特異的分子マーカーの同定とその臨床的意義に関する研究	長谷川 ゆり	産科婦人科	900,000	日本学術振興会
がん進展と転移におけるcPLA2の役割	佛坂 由可	歯科放射線室	1,000,000	日本学術振興会
Eccentric運動は疼痛過敏のトリガー因子に成り得るのか? - 睡眠との関連 -	鳥巢 哲朗	義歯補綴治療室	800,000	日本学術振興会
可視化リアルタイム解析によるオピオイド製剤耐性形成機構解明と新規鎮痛法の開発	倉田 眞治	麻酔・生体管理室	1,700,000	日本学術振興会
咬合性外傷における骨細胞の役割の検討	鞠飼 孝	歯周病治療室	1,200,000	日本学術振興会
歯周病が高密度リポタンパク質の量と質に及ぼす影響の解明	林田 秀明	予防歯科室	1,300,000	日本学術振興会
唾液の韻味と舌圧の関連	三串 伸哉	特殊歯科総合治療部	100,000	日本学術振興会
細胞サイズ調節遺伝子によるワールブルグ効果の破綻を利用した肝細胞癌抑制の研究	三馬 聡	消化器内科	1,100,000	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
従隔リンパ節好中球に着目した肺炎球菌肺炎における新しい免疫機構の解明	山本 和子	呼吸器内科 (第二内科)	1,500,000	補助委 日本学術振興会
オートファジー誘導因子Atg1を標的としたカンジダ症の予防	島村 真太郎	呼吸器内科 (第二内科)	1,200,000	補助委 日本学術振興会
ADHD同胞多発家系のリスク遺伝子の同定と機能解析;発達特性の多次元評価	今村 明	精神科神経科	500,000	補助委 日本学術振興会
ヘリコバクター属菌感染によるTLR9を介した肝内胆管癌発癌機構の解明	足立 智彦	移植・消化器外科(第二外科)	900,000	補助委 日本学術振興会
灌流型3次元血液脳関門モデルの開発と応用	諸藤 陽一	脳神経外科	1,400,000	補助委 日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞による放射線照射リンパ管上皮細胞に対するリンパ管新生効果の検討	吉本 浩	形成外科	1,000,000	補助委 日本学術振興会
細胞の微細構造と拡散モデル式との相関	佐々木 美穂	歯科放射線室	1,300,000	補助委 日本学術振興会
放射線性多発う蝕の発生機序の解明と予防法に関する多施設共同ランダム化比較試験	五月女 ささ子	周術期口腔管理センター	1,400,000	補助委 日本学術振興会
個人識別に最適化する偽式マトリックスと深層学習による個人識別に関する基礎的研究	丸山 陽市	矯正歯科 (歯科矯正学)	1,900,000	補助委 日本学術振興会
インプラント埋入誘発性BP製剤関連顎骨壊死モデルによる病態解析とリスク因子の検索	加藤 初夫	冠補綴治療室	1,000,000	補助委 日本学術振興会
敗血症に対する電気刺激の筋蛋白分解への影響と理学療法の探索	花田 匡利	リハビリテーション部	1,700,000	補助委 日本学術振興会
ヒト歯髄幹細胞と感染症への可能性のない魚コラーゲンを応用した歯髄再生療法の開発	山本 耕平	虫歯治療室	1,100,000	補助委 日本学術振興会
正確な看護業務時間測定と評価に基づく看護業務改善システムの構築と検証に関する研究	岡田 みずほ	看護部管理室	1,100,000	補助委 日本学術振興会
低温ショック蛋白RBM3から展開する低温による炎症制御メカニズムの解明	田崎 修	救命救急センター	1,000,000	補助委 日本学術振興会
マウス腹膜線維症モデルにおける、合成レチノイドAm80の線維化抑制効果	牟田 久美子	呼吸器内科 (第二内科)	500,000	補助委 日本学術振興会
宿主細胞のオートファジーに着目したインフルエンザ関連肺炎の重症化メカニズム解明	小佐井 康介	検査部	1,000,000	補助委 日本学術振興会
血管内皮前駆細胞を用いた吸収性遮蔽膜による新規歯周組織再生療法の開発	川崎 貴子	特殊歯科総合治療部	900,000	補助委 日本学術振興会
唾液中のリン脂質活性化療法を用いた新しい睡眠時無呼吸症候群の薬物治療法の開発	河井 真理	麻酔・生体管理室	1,100,000	補助委 日本学術振興会
消化管癌に対する新しいレーザー光線力学的診断の基礎的・臨床的研究	松島 加代子	医療教育開発センター	600,000	補助委 日本学術振興会
肺がんにおける抗PD-1抗体の効果予測因子の発見	池田 喬哉	呼吸器内科 (第二内科)	1,400,000	補助委 日本学術振興会
テーラーメイド医療を目指したIgA腎症における軽鎮の検討	北村 峰昭	血液浄化療法部	1,100,000	補助委 日本学術振興会
Cryptococcus症の危険因子としての抗サイトカイン自己抗体の解析	西條 知見	感染症内科(第二内科)	1,400,000	補助委 日本学術振興会
羊膜を用いた低抗原性の肝細胞移植デバイスの作製	夏田 孔史	移植・消化器外科(第二外科)	1,000,000	補助委 日本学術振興会
医原性卵巣機能不全に対する妊孕性温存を目的とした卵巣組織凍結・再移植の基礎的研究	村上 直子	産科婦人科	900,000	補助委 日本学術振興会
子宮頸がん検診における自己採取型HPV-DNA検査の受診率向上効果に関する研究	阿部 修平	産科婦人科	1,600,000	補助委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
幹細胞分化3次元網膜様組織を用いた網膜神経節細胞の神経突起伸長に関する研究	前川 有紀	眼科	900,000	日本学術振興会
全身性エリテマトーデスにおけるCD4+CD52+細胞の免疫調節に関する研究	梅田 雅孝	リウマチ・膠原病内科(第一内科)	1,500,000	日本学術振興会
フリーズドライ技術を応用した血小板超濃縮液による新規骨再生法の開発	中谷 佑哉	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,500,000	日本学術振興会
頸動脈粥状硬化巣におけるリンパ管新生/血管新生アンバランスとPCSK9との関連	立石 洋平	脳神経内科	1,300,000	日本学術振興会
DNAメチル化酵素の視点から治療関連白血病のマイクロRNAの制御破綻を解明する	糸永 英弘	原研内科	300,000	日本学術振興会
機能的遺伝子導入細胞を用いた次世代細胞治療	小林 慎一郎	移植・消化器外科(第二外科)	1,600,000	日本学術振興会
多血小板血漿と脂肪幹細胞の放射線潰瘍治療効果の比較検討	今村 慎伸	形成外科	1,300,000	日本学術振興会
薬剤関連顎骨壊死治療の多施設共同前向き観察研究と病理組織学的病態解析	林田 咲	口腔顎顔面外科室	1,200,000	日本学術振興会
温熱刺激によって慢性心不全患者の骨格筋萎縮を予防する新たな試み	森本 陽介	リハビリテーション部	600,000	日本学術振興会
血液腫瘍患者に対するQOL向上に主眼を置いたリハビリテーションプログラムの開発	石井 瞬	リハビリテーション部	500,000	日本学術振興会
肺癌術後患者における術後QOLの早期回復に向けた新しい運動プログラムの検討	及川 真人	リハビリテーション部	500,000	日本学術振興会
関節リウマチにおける破骨細胞と単核球・マクロファージサブセットに関する研究	福井 翔一	第一内科(保健・医療推進センター)	1,200,000	日本学術振興会
免疫組織化学を応用したMGMT methylation statusの評価	梅野 哲也	脳神経外科	700,000	日本学術振興会
ポツリヌス毒素誘発性機能低下モデルを用いた顎口腔機能・形態発育障害の治療法検討	藤下 あゆみ	矯正歯科室	1,200,000	日本学術振興会
常温セラミックス膜形成技術を応用したジルコニアの接着前装に関する研究	篠原 綾乃	冠補綴治療室	300,000	日本学術振興会
筋性拘縮の発生に関わる分子機構解明と理学療法的予防対策の生物学的効果の検証	本田 祐一郎	リハビリテーション部	1,000,000	日本学術振興会
持続的血液濾過透析中の早期離床は患者の予後を変えられるか?	矢野 雄大	リハビリテーション部	1,800,000	日本学術振興会
MRONJにフリーズドライ超濃縮PRPを応用した新規DDSの開発	古賀 喬充	顎口腔再生外科室	1,600,000	日本学術振興会
異種動物由来の脱細胞化口腔粘膜基質による角化歯肉の誘導	江頭 寿洋	顎・口腔外科	1,600,000	日本学術振興会
濃縮末梢血幹細胞群とmicroRNAによる腺房細胞分化誘導システムの開発	野田 さわこ	顎・口腔外科	1,600,000	日本学術振興会
KPU-300併用放射線増感療法抵抗性な口腔癌細胞株の放射線抵抗因子に関する解析	奥山 紘平	口腔顎顔面外科室(口腔外科)	1,100,000	日本学術振興会
ALT及びmiRNAを用いたアセトアミノフェンと抗瘍薬による肝障害増強の検討	宗像 知恵	薬剤部	550,000	日本学術振興会
薬物間相互作用を考慮したカルボプラチン+パクリタキセル療法に最適な制吐薬の検討	神田 結介	薬剤部	550,000	日本学術振興会
腸癌チューブからの薬剤投与の実態調査および閉塞リスクの解析	坂元 利彰	薬剤部	300,000	日本学術振興会
B型肝炎治療におけるテノホビル起因性腎障害の危険因子探索およびその腎障害性の解明	嶺 豊春	薬剤部	550,000	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ビッグデータを利用した大癌術後化学療法開始時の8型肝炎対策の実態調査	室 高広	薬剤部	550,000	日本学術振興会
abl-bcrキメラ遺伝子が腫瘍細胞の分化に関与するメカニズムの解析	森 沙耶香	検査部	570,000	日本学術振興会
健康人における血漿中エクソソームmiRNA測定系の樹立	石原 香織	検査部	570,000	日本学術振興会
医療施設間での組織検体授受方法の標準化に関する研究	福重 友理	薬剤部	420,000	日本学術振興会
PDアプローチを活用したパーチェット病患者会の運営のあり方の検討	岡田 みずほ	看護部管理室	100,000	日本学術振興会
プレホスピタルでの心肺蘇生時における脳循環の解明	田崎 修	救命救急センター	300,000	日本学術振興会
筋線維芽細胞と血管内皮前駆細胞の創傷治癒作用に着目した難治性顎骨壊死の治療法開発	黒嶋 伸一郎	歯科補綴学第一	300,000	日本学術振興会
骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の免疫機能解析と予防治療法の展開	黒嶋 伸一郎	歯科補綴学第一	700,000	日本学術振興会
ATLL及びB細胞性リンパ腫発症リスク評価・判定法の開発	長谷川 寛雄	検査部	150,000	日本学術振興会
ATLL及びB細胞性リンパ腫発症リスク評価・判定法の開発	今泉 芳孝	血液内科(原研内科)	150,000	日本学術振興会
放射線性顎骨壊死の病態と発症リスク因子の解明に関する多施設共同研究	五月女さき子	口腔外科学第一	70,000	日本学術振興会
小脳失調を合併したランバート・イートン筋無力症候群の血液脳関門は破壊している	白石 裕一	脳神経内科	100,000	日本学術振興会
小脳失調を合併したランバート・イートン筋無力症候群の血液脳関門は破壊している	吉村 俊祐	脳神経内科	100,000	日本学術振興会
先端モデル動物支援プラットフォーム	二口 充	病理診断科・病理部	515,203	日本学術振興会
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	上松 聖典	眼科	700,000	厚生労働省
救急医療体制の推進に関する研究	高山 隼人	地域医療支援センター	200,000	厚生労働省
バーチャルマーケティング手法を用いた心停止下臓器提供や小児の臓器提供を含む臓器提供の選択肢提示を行う際の理想的な対応のあり方の確立に関する研究	田崎 修	救命救急センター	250,000	厚生労働省
総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究	北島 道夫	産科婦人科	300,000	厚生労働省
HAMならびにHTLV-1陽性難治性疾患に関する国際的な総意形成を踏まえた診療ガイドラインの作成	松尾 朋博	泌尿器科	350,000	厚生労働省
脳卒中の医療体制の整備のための研究	辻野 彰	脳神経内科	150,000	厚生労働省
地域における包括的な輸血管理体制構築に関する研究	長井 一浩	細胞療法部	200,000	厚生労働省
StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験ACHIEVE Trial(JFMC47-1202-C3)	野中 隆	第一外科	43,200	公益財団法人がん集学的治療研究財団
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究J-DOIT3(追跡)	小出 優史	循環器内科	300,000	公益財団法人 日本糖尿病財団
高齢者化学療法未施行ⅢB/Ⅳ期扁平上皮がんに対するnab-Paclitaxel + Carboplatin併用療法とDocetaxel単剤療法のランダム化第Ⅲ相試験	山口 博之	呼吸器内科	108,000	独立行政法人 国立病院機構名古屋医療センター
骨粗鬆症発症メカニズムの解明と創薬開発への試み	伊東 昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	1,500,000	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター

小計 25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
既治療の進行・再発非小細胞肺癌を対象としたニボルマブ治療における、効果と至適投与期間予測に関する観察研究	山口 博之	呼吸器内科	32,400	補 ◎ 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
非弁膜症性心房細動とアテローム血栓症を合併する脳梗塞例の二次予防における最適な抗血栓療法に関する多施設共同ランダム化比較試験(略称 ATIS-NVAF)	立石 洋平	脳神経内科	10,800	補 ◎ 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
International Study for Treatment of Standard Risk Childhood Relapsed ALL 2010(IntReALL SR 2010)第一再発小児急性リンパ性白血病標準リスク群に対する第III相国際共同臨床研究	岡田 雅彦	小児科	108,000	補 ◎ 独立行政法人 国立病院機構名古屋医療センター
タウリンによるMELAS 脳卒中様発作再発抑制療法の実用化(MELAS脳卒中様発作再発抑制に対するタウリン長期継続試験)	白石 裕一	脳神経内科	500,000	補 ◎ 日本医療研究開発機構
遺伝性皮膚疾患における変異同定並びにナンセンス変異読み飛ばし試薬による治療法開発	原 肇秀	皮膚科・アレルギー科	6,300,000	補 ◎ 日本医療研究開発機構
CHP/NY-ESO-1ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした多施設共同前期第II相臨床試験(CHP/NY-ESO-1ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした多施設共同前期第II相臨床試験)	金高 賢悟	移植・消化器外科	300,000	補 ◎ 日本医療研究開発機構
骨髄異形成症候群造血幹細胞移植症例におけるゲノム解析に基づいた革新的予後予測モデルの構築(造血幹細胞移植における新規予後予測モデルの構築、日本人における骨髄異形成症候群のゲノム異常の評価・DDX41 germline変異の探索)	佐藤 信也	血液内科	650,000	補 ◎ 日本医療研究開発機構
発症時刻不明の急性期脳梗塞に対する適正な血栓溶解療法の推進を目指す研究(発症時刻不明の急性期脳梗塞に対する適正な血栓溶解療法の推進を目指す研究)	辻野 彰	脳神経内科	150,000	補 ◎ 日本医療研究開発機構
HTLV-1の疫学研究及び総合対策に資する研究(HTLV-1(抗体)の検査法の改善、ガイドライン改定等、国内検査診断体制の強化)	長谷川 寛雄	検査部	1,400,000	補 ◎ 日本医療研究開発機構
難治性食道がんの治療方針決定に資する技術開発に関する研究(SUCCESS試験登録症例の臨床データ収集)	松島 加代子	消化器内科	260,000	補 ◎ 日本医療研究開発機構
臨床試験と全国患者実態把握によるindolentATLに対する標準治療の開発研究(ATL全国調査の研究調整、JCOG1111C試験とATL全国調査への適格例の登録と研究)	今泉 芳孝	血液内科	310,000	補 ◎ 日本医療研究開発機構
急性型およびリンパ腫型成人T細胞白血病に対する標準治療としての同種造血幹細胞移植法の確立(成人T細胞白血病症例登録、ゲノム解析に用いる検体収集、同種造血幹細胞移植を受ける症例の病態解析)	澤山 靖	血液内科	494,000	補 ◎ 日本医療研究開発機構

小計12
計 287

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Imamura H, Eguchi S, Shapiro AMJ, 他	胃・食道外科	A case of double common bile duct in a deceased donor for transplantation.	Surg Radiol Anat 39(12): 1409-1411, 2017	Case report
2	Imamura H, Hidaka M, Soyama A, 他	胃・食道外科	A Donor Age-Based and Graft Volume-Based Analysis for Living Donor Liver Transplantation in Elderly Recipients.	Transplant Direct 3(7): e168, 2017	Original Article
3	Imamura H, Adachi T, Kitasato A, 他	胃・食道外科	A Modified Method for Purifying Gallbladder Epithelial Cells Using Fluorescence-activated Cell Sorting.	In Vivo 31(2): 169-173, 2017	Original Article
4	Natsuda K, Takatsuki M, Tanaka T, 他	肝胆膵外科・肝移植外科	Aspartate transaminase-platelet ratio and Fibrosis-4 indices as effective markers for monitoring esophageal varices in HIV/hepatitis C virus co-infected patients due to contaminated blood products for hemophilia.	Hepatol Res 47(12): 1282-1288, 2017	Original Article
5	Hidaka M, Eguchi S	肝胆膵外科・肝移植外科	Budd-Chiari Syndrome: A focus on surgical treatment.	Hepatol Res 47(2): 142-148, 2017	Review
6	Tanaka S, Kanetaka K, Fuji M, 他	胃・食道外科	Cell sheet technology for the regeneration of gastrointestinal tissue using a novel gastric perforation rat model.	Surg Today 47(1): 114-121, 2017	Original Article
7	Wang K, Eguchi S, Hidaka M, 他	肝胆膵外科・肝移植外科	Comparison of the outcomes of hepatocellular carcinoma after hepatectomy between two regional medical centers in China and Japan.	Asian J Surg 40(5): 380-388, 2017	Original Article
8	Miyaaki H, Takatsuki M, Ichikawa T, 他	消化器内科	Intrahepatic MicroRNA Profile of Liver Transplant Recipients with Hepatitis C Virus Co-Infected with Human Immunodeficiency Virus.	Ann Transplant 22: 701-706, 2017	Original Article
9	Kuroki T, Eguchi S	肝胆膵外科・肝移植外科	No-touch isolation techniques for pancreatic cancer.	Surg Today 47(1): 8-13, 2017	Review
10	Imamura H, Adachi T, Kitasato A, 他	胃・食道外科	Safety and efficacy of postoperative pharmacologic thromboprophylaxis with enoxaparin after pancreatic surgery.	Surg Today 47(8): 994-1000, 2017	Original Article
11	Yamaguchi S, Kanetaka K, Kobayashi S, 他	小児外科	Severe neutrophilic leukocytosis as a progression marker in granulocyte colony-stimulating factor-producing squamous cell carcinoma of the esophagus.	Clin Case Rep 5(5): 688-693, 2017	Original Article
12	Eguchi S, Soyama A, Nagai K, 他	肝胆膵外科・肝移植外科	The donor advocacy team: a risk management program for living organ, tissue, and cell transplant donors.	Surg Today 47(8): 980-985, 2017	Original Article
13	Yamanouchi K, Kuba S, Sakimura C, 他	乳腺・内分泌外科	The relationship between peripheral neuropathy induced by docetaxel and systemic inflammation-based parameters in patients with breast cancer.	Anticancer Res 37(12): 6947-6951, 2017	Original Article
14	Kuba S, Yamanouchi K, Hayashida N, 他	乳腺・内分泌外科	Total thyroidectomy versus thyroid lobectomy for papillary thyroid cancer: Comparative analysis after propensity score matching: A multicenter study.	Int J Surg 38: 143-148, 2017	Original Article
15	Hanada M, Tawara Y, Miyazaki T, 他	リハビリテーション部	Incidence of orthostatic hypotension and cardiovascular response to postoperative early mobilization in patients undergoing cardiothoracic and abdominal surgery.	BMC Surg 17(1): 111, 2017	Original Article
16	Yamada Y, Suzuma K, Onizuka N, 他	眼科	Evaluation of retinal blood flow before and after panretinal photocoagulation using pattern scan laser for diabetic retinopathy.	Curr Eye Res 42: 1707-1712, 2017	Original Article
17	Mohamed YH, Uematsu M, Inoue D, 他	眼科	First experience of nDASEK with heads-up surgery	A case report. Medicine 96 e6906, 2017	Case report
18	Fukuda M, Shimada M, Kitazaki T, 他	がん診療センター	A phase I study of irinotecan for previously treated lung cancer patients with UGT1A1*28 or *6 polymorphism: Results of Lung Oncology Group in Kyusyu (LOGJK1004A).	Thoracic Cancer 8(1): 40-45, 2017	Original Article
19	Hirayama T, Takazono T, Iwata K, 他	呼吸器内科	A case series of histoplasmosis patients with elevated serum soluble interleukin-2 receptor levels.	J Infect Chemother. 23(9): 642-647, 2017	Case report
20	Tashiro M, Fushimi K, Kawano K, 他	感染制御教育センター	Adjunctive Corticosteroid Therapy for Inpatients with Mycoplasma pneumoniae Pneumonia.	BMC Pulm Med. 17: 219-219, 2017	Original Article
21	Tashiro M, Fushimi K, Kawano K, 他	感染制御教育センター	Comparison of efficacy of antimicrobial agents among hospitalized patients with Mycoplasma pneumoniae pneumonia in Japan during large epidemics of macrolide-resistant M. pneumoniae infections	A nationwide observational study. Clin Infect Dis. 65: 1837-1842, 2017	Original Article
22	Oshima K, Nakamura S, Iwanaga N, 他	呼吸器内科	Efficacy of High-Dose Meropenem (Six Grams per Day) in Treatment of Experimental Murine Pneumonia Induced by Meropenem-Resistant Pseudomonas aeruginosa.	Antimicrob Agents Chemother. 61(1): pii: e02056-16, doi: 10.1128/AAC.02056-16, 2017	Original Article
23	Oshima K, Takazono T, Saijo T, 他	呼吸器内科	Examination of cryptococcal glucuronoxylomannan antigen in bronchoalveolar lavage fluid for diagnosing pulmonary cryptococcosis in HIV-negative patients.	Med Mycol. 56(1): 88-94, 2017	Original Article
24	Nagaoka K, Yanagihara K, Harada Y, 他	検査部	Quantitative detection of periodontopathic bacteria in lower respiratory tract specimens by real-time PCR.	J Infect Chemother. 2017 Feb;23(2):69-73.	Original Article
25	Tajima G, Tokunaga A, Umebara T, 他	高度救命救急センター	Early diagnosis using canonical discriminant analysis of innate immune receptor gene expression profiles in a murine infectious or sterile systemic inflammation model.	J Trauma Acute Care Surg. 2017 Dec 28. doi: 10.1097/TA.0000000000001789.	Original Article
26	Hayashida K, Yoshida S, Yoshimoto H, 他	形成外科	Adipose-Derived Stem Cells and Vascularized Lymph Node Transfers Successfully Treat Mouse Hindlimb Secondary Lymphedema by Early Reconnection of the Lymphatic System and Lymphangiogenesis.	Plast Reconstr Surg. 2017 Mar;139(3):639-651	Original Article
27	Akita S, Hayashida K, Yoshimoto H, 他	形成外科	Nagasaki University plastic surgeons group. Novel Application of Cultured Epithelial Autografts (CEA) with Expanded Mesh Skin Grafting Over an Artificial Dermis or Dermal Wound Bed Preparation.	Int J Mol Sci. 2017 Dec 25;19(1). pii: E57.	Original Article
28	Tanaka K, Yano H, Hayashi H, 他	形成外科	Total resection combined with osteotomy is more effective for orbital solitary fibrous tumor excision: a report of three cases.	Int Ophthalmol. 2017 doi: 10.1007/s10792-016-0421-2. PMID: 28054210.	Case report
29	Shimada M, Fukuda M, Fukuda M, 他	呼吸器内科	Adverse renal effects of anaplastic lymphoma kinase inhibitors and the response to alectinib of an ALK+ lung cancer patient with renal dysfunction.	Oncotargets Ther 10: 3211-3214, 2017	Original Article
30	Naito K, Yamasaki K, Yatera K, 他	呼吸器内科	Bacteriological incidence in pneumonia patients with pulmonary emphysema: a bacterial flora analysis using the 16S ribosomal RNA gene in bronchoalveolar lavage fluid.	Int J COPD 12: 2111-2120, 2017	Original Article
31	Kajihara T, Nakamura S, Iwanaga N, 他	呼吸器内科	Comparative efficacies of daptomycin, vancomycin, and linezolid in experimental enterococcal peritonitis.	J Infect Chemother 23(7): 498-501, 2017	Original Article
32	Chojin Y, Kato T, Rikihisa M, 他	呼吸器内科	Evaluation of the Mann Assessment of Swallowing Ability in elderly patients with pneumonia.	Aging and Disease 8(4): 420-433, 2017	Original Article
33	Chojin Y, Ishimoto H, Noguchi S, 他	呼吸器内科	Frequent Oxygen Desaturation During Sleep on the Day of Bronchoscopy Evaluated by Continuous Pulse Oximeter Monitoring.	J LOEBI 39(3): 209-213, 2017	Original Article
34	Taniguchi H, Yamada T, Takeuchi S, 他	呼吸器内科	Impact of MET inhibition on small-cell lung cancer cells showing aberrant activation of the hepatocyte growth factor/MET pathway.	Cancer Science 108(7): 1378-1385, 2017	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
35	Takemoto S, Nakamura Y, Fukuda M, 他	呼吸器内科	Phase I study of pemetrexed and concurrent radiotherapy for previously untreated elderly patients with locally advanced non-squamous non-small cell lung cancer.	Thorac Cancer 8(6): 577-581, 2017	Original Article
36	Takemoto S, Soda H, Iwasaki K, 他	呼吸器内科	Pulmonary artery sarcoma overexpressing platelet-derived growth factor receptor α .	Intern Med 56(7): 823-826, 2017	Case report
37	Fukuda M, Okumura M, Iwakiri T, 他	がん診療センター	Relationship between UGT1A1*27 and UGT1A1*7 polymorphisms and irinotecan-related toxicities in patients with lung cancer.	Thorac Cancer 9(1): 51-58, 2018	Original Article
38	Nishida C, Yatera K, Kido T, 他	呼吸器内科	Two cases of tuberous sclerosis complex suggestive of complicating multifocal micronodular pneumocyte hyperplasia: A case report.	J LOEIJ 39(2): 133-141, 2017	Case report
39	Nakamura S, Miyazaki T, Izumikawa K, 他	呼吸器内科	Efficacy and safety of intravenous peramivir compared with oseltamivir in high-risk patients infected with Influenza A and B viruses: a multicenter, randomized, controlled study.	Open Forum Infect Dis 4(3): ofx129, 2017	Original Article
40	Higashi Y, Nakamura S, Ashizawa N, 他	呼吸器内科	Pulmonary Actinomycosis mimicking pulmonary aspergilloma and a brief review of the literature.	Intern Med 56(4): 449-453, 2017	Case report
41	Takazono T, Sheppard DC	呼吸器内科	Aspergillus in chronic lung disease: Modeling what goes on in the airways.	Med Mycol 55(1): 39-47, 2017	Review
42	Kaku N, Kosai K, Takeda K, 他	病理診断科・病理部	Efficacy and pharmacokinetics of the combination of OP0595 and cefepime in a mouse model of pneumonia caused by Extended-Spectrum-Beta-Lactamase-Producing Klebsiella pneumoniae.	Antimicrob Agent Chemoth 61(7): e00828-17, 2017	Original Article
43	Koga T, Fukushima C, Umeda M, 他	リウマチ・膠原病内科	Familial Mediterranean fever complicated with refractory asthma: Successful treatment with colchicine.	Mod Rheumatol 27(1): 182-183, 2017	Letter
44	Yanagihara K, Watanabe A, Aoki N, 他	検査部	Nationwide surveillance of bacterial respiratory pathogens conducted by the surveillance committee of Japanese Society of Chemotherapy, the Japanese Association for Infectious Diseases, and the Japanese Society for Clinical Microbiology in 2012: General view of the pathogens' antibacterial susceptibility.	J Infect Chemoth 23(9): 587-597, 2017	Case report
45	Kawashita S, Kaneuchi M, Nakayama D, 他	産科婦人科	Carbon dioxide angiography and arterial embolization could successfully control postpartum uterine hemorrhage for the patient with hypersensitivity to iodine compound.	Radiology Case Report 2017 Feb 24;12(2):261-264	Original Article
46	Miura K, Higashijima A, Murakami Y, 他	産科婦人科	Circulating levels of pregnancy-associated, placenta-specific microRNAs in pregnant women with placental abruption.	Reprod. Sci. 2017; 24:148-155	Original Article
47	Fuchi N, Miura K, Doi H, 他	産科婦人科	Feasibility of placenta-derived mesenchymal stem cells as a tool for studying pregnancy-related disorders.	Scientific Reports. 2017;7:46220.	Original Article
48	Miura K, Kurabayashi T, Satoh C, 他	産科婦人科	Fetiform teratoma was a parthenogenetic tumour arising from a mature ovum.	Journal of Human Genetics. 2017;62:803-808.	Original Article
49	Mine Y, Eguchi S, Enjouji A, 他	胃・食道外科	Round ligament varicosities diagnosed as inguinal hernia during pregnancy: A case report and series from two regional hospitals in Japan.	International of surgery Case Reports 2017;36:122-125	Case report
50	Yuriko K, Shizuka O, Shintaro E, 他	産科婦人科	Soymilk improves muscle weakness in young ovariectomized female mice.	Nutrients 2017;9:834	Original Article
51	Kitajima M, Miura K, Inoue T, 他	産科婦人科	Two consecutive successful live birth in woman with 17 α hydroxylase deficiency by frozen-thaw embryo transfer under hormone replacement endometrium preparation.	Gynecol Endocrinol. 2017 Oct 25:1-4.	Original Article
52	Yoshida H, Takahashi H, Kanda Y, 他	耳鼻咽喉科	Long-term Outcomes of Cochlear Implantation in Children With Congenital Cytomegalovirus Infection.	Otol Neurotol. 38:e190-e194, 2017	Original Article
53	Yoshida H, Takahashi H, Kanda Y, 他	耳鼻咽喉科	PET-CT observations of cortical activity in pre-lingually deaf adolescent and adult patients with cochlear implantation.	Acta Otolaryngol. 137: 464-470, 2017	Original Article
54	Shiraiishi T, Tominaga T, Nonaka T, 他	乳腺・内分泌外科	A case of single-incision laparoscopic surgery for a bleeding Meckel's diverticulum diagnosed pre-operatively by double-balloon endoscopy.	Int J Surg Case Rep 33:67-70,2017	Case report
55	Miyazaki T, Yamasaki N, Tsuchiya T, 他	呼吸器外科	Avoiding completion pneumonectomy by omentopexy for bronchial dehiscence.	J Thorac Dis 9(3):E226-E229,2017	Original Article
56	Kunizaki M, Fukuda A, Wakata K, 他	胃・食道外科	Clinical Significance of Serum p53 Antibody in the Early Detection and Poor Prognosis of Gastric Cancer.	Anticancer Res 37(4):1979-1984,2017	Original Article
57	Baba M, Matsumoto K, Yamasaki N, 他	乳腺・内分泌外科	Development of a Tailored Thyroid Gland Phantom for Fine-Needle Aspiration Cytology by Three-Dimensional Printing.	J Surg Educ 74(6):1039-1046,2017	Original Article
58	Matsumoto K, Yamasaki N, Tsuchiya T, 他	呼吸器外科	Double stenting with silicone and metallic stents for malignant airway stenosis.	Surg Today 47(8):1027-1035,2017	Original Article
59	Miyazaki T, Yamasaki N, Tsuchiya T, 他	呼吸器外科	Ratio of C-reactive protein to albumin is a prognostic factor for operable non-small-cell lung cancer in elderly patients.	Surg Today 47(7):836-843,2017	Original Article
60	Matsumoto K, Yamasaki N, Tsuchiya T, 他	呼吸器外科	Single lung retrieval from a donor supported by a left ventricular assist device.	J Thorac Dis 9(8):E685-688,2017	Original Article
61	Tominaga T, Nonaka T, Wakata K, 他	胃・食道外科	Single-incision laparoscopic ileocecal resection using an organ retractor.	Int J Surg Case Rep 33:84-88,2017	Original Article
62	Obata T, Miyazaki T, Yamasaki N, 他	呼吸器外科	Successful Resection of locally infiltrative Glomus Tumor without pulmonary resection.	Int J Surg Case Rep 41:191-193,2017	Original Article
63	Miyazaki T, Yamasaki T, Nakamura D, 他	呼吸器外科	Surgery or stereotactic body radiotherapy for elderly stage I lung cancer? A propensity score matching analysis.	Surg Today 47(12):1476-1483,2017	Original Article
64	Matsumoto K, Yamasaki N, Tsuchiya T, 他	呼吸器外科	Temporary bypass for superior vena cava reconstruction with Anthron bypass tube™.	J Thorac Dis 9(7):E614-E618	Original Article
65	Taniguchi D, Yamasaki N, Miyazaki T, 他	呼吸器外科	The surgical outcomes of lung cancer combined with interstitial pneumonia: a single-institution report.	Surg Today,2017 Nov;47(11):1397-1404.	Original Article
66	Doi R, Tsuchiya T, Mitsuake N, 他	呼吸器外科	Transplantation of bioengineered rat lungs recellularized with endothelial and adipose-derived stromal cells.	Sci Rep 7(1) 2017 Aug 16:8447	Original Article
67	Kunizaki M, Hamasaki K, Wakata K, 他	胃・食道外科	Unusually high levels of serum p53 antibody in recurrent gastric cancer.	Clin J Gastroenterol 10(6):503-507,2017	Case report
68	Otubo R, Hirakawa H, Oikawa M, 他	乳腺・内分泌外科	Validation of a Novel Diagnostic Kit Using the Semidry Dot-Blot Method to Detect Metastatic Lymph Nodes in Breast Cancer: Distinguishing Macrometastases From Nonmacrometastases.	Clinical Breast Cancer 2017	Original Article
69	Yoshimura S, Kawano H, Minami T, 他	循環器内科	Cardiac calcified amorphous tumors in a patient with hemodialysis for diabetic nephropathy.	Intern Med 56(22): 3057-3060, 2017	Case report
70	Yamagata Y, Kawano H, Shibata H, 他	循環器内科	Esophageal varix in an adult fontan survivor.	Intern Med 56(23): 3261-3262, 2017	Original Article
71	Yoshida T, Kawano H, Hayashi T, 他	循環器内科	Expression of plakoglobin in the myocardium was reduced in an elderly patient with arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy.	Geriatr Gerontol Int 17(7): 1132-1133, 2017	Letter
72	Nakashima H, Mashimo Y, Kurobe M, 他	循環器内科	Impact of morning onset on the incidence of recurrent acute coronary syndrome and progression of coronary atherosclerosis in acute myocardial infarction.	Circ J 81(3): 361-367, 2017	Original Article
73	Kawano H, Yamasa T, Arakawa S, 他	循環器内科	Landirolol dramatically improved Takotsubo cardiomyopathy in an older patient.	Geriatr Gerontol Int 17(12): 2622-2623, 2017	Letter
74	Yoshikawa D, Yamao T, Nakao K	消化器内科	Endoscopic papillectomy for a Duodenal Duplication Cyst.	Dig Endosc 29(1): 129-130, 2017	Letter
75	Heshiguchi K, Ohba K, Nakashima M	消化器内科	Esophageal Keratinous Inclusion Cyst.	Dig Endosc 29(5): 639-640, 2017	Letter

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
76	Ogihara K, Isomoto H, Kurumi H, 他	消化器内科	Expression of coproporphyrinogen oxidase is associated with detection of upper gastrointestinal carcinomas by 5-aminolevulinic acid-mediated photodynamic diagnosis.	Photodiagnosis Photodyn Ther 19: 15-21, 2017	Original Article
77	Haraguchi M, Miyaaki H, Ichikawa T, 他	消化器内科	Glucose fluctuations reduce quality of sleep and of life in patients with liver cirrhosis.	Hepatology Int 11(1): 125-131, 2017	Original Article
78	Takaki H, Akazawa Y, Kido Y, 他	消化器内科	Hepatitis C Virus Infection Increases c-Jun N-Terminal Kinase (JNK) Phosphorylation and Accentuates Hepatocyte Lipopoptosis.	Med Sci Monit 23: 4526-4532, 2017	Original Article
79	Tag-Adeen M, Sabra AM, Akazawa Y, 他	消化器内科	Impact of hepatitis C virus genotype-4 eradication following direct acting antivirals on liver stiffness measurement.	Hepat Med 9: 45-53, 2017	Original Article
80	Shoji H, Isomoto H, Yoshida A, 他	消化器内科	MicroRNA-130a is highly expressed in the esophageal mucosa of achalasia patients.	Exp Ther Med 14(2): 898-904, 2017	Original Article
81	Takahara I, Takeshima F, Ichikawa T, 他	消化器内科	Prevalence of Restless Legs Syndrome in Patients with Inflammatory Bowel Disease.	Dig Dis Sci 62(3): 761-767, 2017	Original Article
82	Miyaaki H, Tamada Y, Hayashi K, 他	消化器内科	Recurrent Hepatitis B and D Virus Infection in a Liver Transplant Recipient.	Transplant Proc 49(1): 175-177, 2017	Case report
83	Miyaaki H, Nakao K	消化器内科	Significance of genetic polymorphisms in patients with nonalcoholic fatty liver disease.	Clin J Gastroenterol 10(3): 201-207, 2017	Review
84	Yamashima M, Miyaaki H, Honda T, 他	消化器内科	Significance of psoas muscle thickness as an indicator of muscle atrophy in patients with hepatocellular carcinoma treated with sorafenib.	Mol Clin Oncol 7(3): 449-453, 2017	Original Article
85	Ogihara K, Akazawa Y, Nakao K	消化器内科	Successful endoscopic closure of gastrocutaneous fistulas using a combination of polyethylene glycolic acid mesh and the Funada-style gastropexy device.	Dig Endosc 29(6): 728-729, 2017	Case report
86	Takahara I, Akazawa Y, Tabuchi M, 他	消化器内科	Toyocamycin attenuates free fatty acid-induced hepatic steatosis and apoptosis in cultured hepatocytes and ameliorates nonalcoholic fatty liver disease in mice.	PLoS One 12(3): e0170591, 2017	Original Article
87	Yamaguchi N, Isomoto H, Kobayashi S, 他	消化器内科	Oral epithelial cell sheets engraftment for esophageal strictures after endoscopic submucosal dissection of squamous cell carcinoma and airplane transportation.	Sci Rep 7(1): 17460, 2017	Original Article
88	Shiraishi T, Shoji H, Akazawa Y	口腔外科	Gingival Carcinoma in a Patient With Ulcerative Colitis?	Gastroenterology 152(1): e10-e11, 2017	Case report
89	Otsubo Y, Hashimoto K, Kanbe T, 他	小児科	Association of cord blood chemokines and other biomarkers with neonatal complications following intrauterine inflammation.	PLoS One 12(5): e0175082-017509, 2017	Original Article
90	Shingu K, Funakoshi Y, Ito N, 他	小児科	Development of systemic lupus erythematosus 5 years after onset of thrombocytopenic purpura.	Pediatr Int 59(8): 943-944, 2017	Case report
91	Kondo Y, Nishimata H, Hidaka K, 他	小児外科	Draft genome sequence of a clinical isolate of Streptococcus mutans strain HM.	Genome Announc 5(33): e00826-17, 2017	Original Article
92	Miyahara K, Takahashi K, Anh NT, 他	感染症内科	Exposure to paternal tobacco smoking increased child hospitalization for lower respiratory infections but not for other diseases in Vietnam.	Sci Rep 7: 45481, 2017	Original Article
93	Dateki S, Watanabe S, Kinoshita F, 他	小児科	Identification of 11p14.1-p15.3 deletion probably associated with short stature, relative macrocephaly, and delayed closure of the fontanelles.	Am J Med Genet A 173(1): 217-220, 2017	Case report
94	Dateki S, Nakatomi A, Watanabe S, 他	小児科	Identification of a novel heterozygous mutation of the aggrecan gene in a family with idiopathic short stature and multiple intervertebral disc herniation.	J Hum Genet 62(7): 717-721, 2017	Case report
95	Dateki S, Kagami M, Matsubara K, 他	小児科	Maternally derived 15q11.2-q13.1 duplication and H19-DMR hypomethylation in a patient with Silver-Russell syndrome.	J Hum Genet 62(10): 919-922, 2017	Case report
96	Koide N, Dateki S, Watanabe K and Moriuchi H.	小児科	Novel SCCE mutation (p.Glu65) in a Japanese family with myoclonus-dystonia.	Pediatr Int 59(9): 1018-1020, 2017	Case report
97	Tozumi M, Nguyen GT, Motomura H, 他	感染症内科	Sensory defects and developmental delay among children with congenital rubella syndrome.	Sci Rep 7: 46483, 2017	Original Article
98	Funakoshi Y, Okada M, Kawata S, 他	小児科	The significant effects of pazopanib on multiple pulmonary metastatic lesions of alveolar soft part sarcoma: a case report.	J Pediatr Hematol Oncol 39(3):238-239, 2017	Case report
99	Obase K, Miura T, Inoue T, 他	心臓血管外科	"Spiral Suspension", a Novel Repair Technique for Severe Functional Tricuspid Regurgitation.	Mitral Conclave 2017, 2017	Original Article
100	Obase K, Matsumaru I, Miura T, 他	心臓血管外科	Echocardiographic visualization and quantification of mitral complex during mitral repair for severe functional mitral regurgitation.	J Thorac Cardiovasc Surg 154(4):1252-1255, 2017	Original Article
101	Kamijo M, Kitamura M, Muta K, 他	腎臓内科	A case of mild phenotype Alport syndrome caused by COL4A3 mutations.	CEN Case Rep 6(2): 189-193, 2017	Case report
102	Oka S, Obata Y, Tongoo K, 他	腎臓内科	A Comparative Study of the Hemoglobin-Maintaining Effects Between Epoetin-β Pegol and Darbepoetin-α in Patients with Chronic Kidney Disease During 3 Months Before Dialysis Initiation.	Drugs R D 17(3):389-396, 2017.	Original Article
103	Oka S, Obata Y, Sato S, 他	腎臓内科	Serum Endocan as a Predictive Marker for Decreased Urine Volume in Peritoneal Dialysis Patients.	Med Sci Monit 23(3): 1464-1470, 2017	Original Article
104	Horie I, Abiru N, Hongo R, 他	内分泌・代謝内科	Increased sugar intake as a form of compensatory hyperphagia in patients with type 2 diabetes under dapagliflozin treatment.	Diabetes Res Clin Pract. 135:178-184, 2017.	Original Article
105	Noguchi C, Koseki H, Horiuchi H, 他	整形外科	Factors contributing to airborne particle dispersal in the operating room.	BMC Surg 17(1): 78, 2017	Original Article
106	Kajiyama S, Muroi S, Sugaya H, 他	整形外科	Osteochondritis Dissecans of the Humeral Capitulum in Young Athletes: Comparison Between Baseball Players and Gymnasts.	Orthop J Sports Med 5(3): 2325967117692513, 2017	Original Article
107	Chiba K, Yonekura A, Miyamoto T, 他	整形外科	Tibial condylar valgus osteotomy (TCVO) for osteoarthritis of the knee: 5-year clinical and radiological results.	Arch Orthop Trauma Surg 137(3): 303-310, 2017	Original Article
108	Ichinose K, Ohyama K, Furukawa K, 他	リウマチ・膠原病内科	Novel anti-suprabasin antibodies may contribute to the pathogenesis of neuropsychiatric systemic lupus erythematosus.	Clin Immunol S1521-6616(17): 30593-4, 2017	Original Article
109	Koga T, Kawashiri SY, Migita K, 他	リウマチ・膠原病内科	Comparison of serum inflammatory cytokine concentrations in familial Mediterranean fever and rheumatoid arthritis patients.	Scand J Rheumatol Sep 2: 1-3, 2017	Original Article
110	Nakajima K, Odatsu T, Shinohara A, 他	保存・補綴歯科	Effects of cleaning methods for custom abutment surfaces on gene expression of human gingival fibroblasts.	J Oral Sci 59(4): 533-539, 2017	Original Article
111	Kurushima S, Horai Y, Umeda M, 他	リウマチ・膠原病内科	Anti-transcription intermediary factor 1 γ-antibody positive dermatomyositis complicated by dysphagia.	Intern Med. 56(21):2965-2966, 2017.	Original Article
112	Watanabe C, Fukui S, Iwamoto N, 他	リウマチ・膠原病内科	Diffuse alveolar hemorrhage developing immediately after immunosuppressive treatments in a patient with granulomatosis with polyangiitis who had pulmonary nodules.	Intern Med. 57(3):417-421, 2017.	Case report
113	Fujimoto S, Koga T, Kawakami A, 他	リウマチ・膠原病内科	Tentative diagnostic criteria and disease severity classification for Castleman disease: A report of the research group on Castleman disease in Japan.	Mod Rheumatol. (1):161-167, 2017.	Original Article
114	Kataoka H, Nakano J, Kondo Y, 他	リウマチ・膠原病内科	The influence of aging on the effectiveness of heat stress in preventing disuse muscle atrophy.	Physiol Int 104(4):316-328, 2017.	Original Article
115	Tamai M, Arima K, Nakashima Y, 他	リウマチ・膠原病内科	Baseline MRI bone erosion predicts the subsequent radiographic progression in early rheumatoid arthritis patients who achieved sustained good clinical response.	Mod Rheumatol. 27:961-966, 2017.	Original Article
116	Nishino A, Kawashiri SY, Shimizu T, 他	リウマチ・膠原病内科	Assessment of both articular synovitis and tenosynovitis by ultrasound is useful for evaluations of hand dysfunction in early rheumatoid arthritis patients.	Mod Rheumatol. 27:605-608, 2017.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
117	Koga T, Kawashiri SY, Nakao K, 他	リウマチ・膠原病内科	Successful ledipasvir + sofosbuvir treatment of active synovitis in a rheumatoid arthritis patient with hepatitis C virus-related mixed cryoglobulinemia.	Mod Rheumatol 27(5): 917-918, 2017	Letter
118	Umeda M, Koga T, Ichinose K, 他	リウマチ・膠原病内科	CD4+ CD52lo T-cell expression contributes to the development of systemic lupus erythematosus.	Clin Immunol 187: 50-57, 2017	Original Article
119	Origuchi T, Arima K, Umeda M, 他	リハビリテーション部	Clinical outcomes in the first year of remitting seronegative symmetrical synovitis with pitting edema (RS3PE) syndrome.	Mod Rheumatol 27(1): 150-154, 2017	Original Article
120	Fukui S, Iwamoto N, Kawakami A	リウマチ・膠原病内科	Drug-induced large vessel vasculitis with carotid arterial ring sign.	Scand J Rheumatol 47(1): 83-84, 2017	Case report
121	Kurushima S, Horai Y, Takatani A, 他	リウマチ・膠原病内科	Phalangeal Microgeodic Syndrome in a Patient with Systemic Lupus Erythematosus.	Intern Med 56(24): 3385-3387, 2017	Case report
122	Shimizu Y, Sato S, Koyamatsu J, 他	医療教育開発センター	Platelets and circulating CD34-positive cells as an indicator of the activity of the vicious cycle between hypertension and endothelial dysfunction in elderly Japanese men.	Atherosclerosis 259: 26-31, 2017	Original Article
123	Umeda M, Kawashiri SY, Nishino A, 他	リウマチ・膠原病内科	Synovitis of sternoclavicular and peripheral joints can be detected by ultrasound in patients with SAPHO syndrome.	Mod Rheumatol 27(5): 881-885, 2017	Original Article
124	Iwamoto N, Tsuji S, Takatani A, 他	リウマチ・膠原病内科	Efficacy and safety at 24 weeks of daily clinical use of tofacitinib in patients with rheumatoid arthritis.	PLoS One 12(5), 2017	Original Article
125	Sasabe R, Sakamoto J, Goto K, 他	リハビリテーション部	Effects of joint immobilization on changes in myofibroblasts and collagen in the rat knee contracture model.	J Orthop Res 35(9): 1998-2006, 2017	Original Article
126	Koga T, Kawakami A	リウマチ・膠原病内科	The role of CaMK4 in immune responses.	Mod Rheumatol. 28(2) 211-214, 2017	Review
127	Koga T, Migita K, Sato T, 他	リウマチ・膠原病内科	MicroRNA-204-3p inhibits lipopolysaccharide-induced cytokines in familial Mediterranean fever via the phosphoinositide 3-kinase γ pathway.	Rheumatology. 57(4):718-726, 2017.	Original Article
128	Fukui S, Iwamoto N, Takatani A, 他	リウマチ・膠原病内科	M1 and M2 Monocytes in Rheumatoid Arthritis: A Contribution of Imbalance of M1/M2 Monocytes to Osteoclastogenesis.	Front Immunol 8:1958, 2018 eCollection 2017	Original Article
129	Fukui S, Nakamura H, Takahashi Y, 他	リウマチ・膠原病内科	Tumor necrosis factor alpha inhibitors have no effect on a human T-lymphotropic virus type-1 (HTLV-1)-infected cell line from patients with HTLV-1-associated myelopathy.	BMC Immunol 18:7, 2017	Original Article
130	Koga T, Okada A, Fukuda T, 他	リウマチ・膠原病内科	Japanese RA Patients with RRP Study Group: Anti-citrullinated peptide antibodies are the strongest predictor of clinically relevant radiographic progression in rheumatoid arthritis patients achieving remission or low disease activity: A post hoc analysis of a nationwide cohort in Japan.	PLoS one 12(5): e0175281, 2017	Original Article
131	Kuba S, Maeda S, Matsumoto M, 他	乳腺・内分泌外科	Adherence to Adjuvant Endocrine Therapy in Women With Breast Cancer: A Prospective Observational Study in Japanese Women.	Clin Breast Cancer. Dec 12. pii: S1526-8309(17)30626-2. 2017	Original Article
132	Nishi A, Numata S, Tajima A, 他	精神科神経科	De novo non-synonymous TBL1XR1 mutation alters Wnt signaling activity.	Sci Rep. 7(1): 2887. doi: 10.1038/s41598-017-02792-z. 2017	Original Article
133	Morimoto Y, Ono S, Imanura A, 他	精神科神経科	Deep sequencing reveals variations in somatic cell mosaic mutations between monozygotic twins with discordant psychiatric disease.	Hum Genome Var. 4: 17032. doi: 10.1038/hgv.2017.32. eCollection, 2017.	Original Article
134	Yamaguchi S, Horie N, Morofuji Y, 他	脳神経外科	Rapid Recanalization Using TrevoProVue through a 4.2 Fr Catheter without a Guiding Catheter via Transbrachial Approach: A Case Report.	NMC Case Rep J 4(4):97-99,2017	Original Article
135	Debata A, Yoshida K, Ujihuku K, 他	脳神経外科	Hyperglycemia is associated with poor survival in primary central nervous system lymphoma patients.	Tumori 103(3): 272-278,2017	Original Article
136	Fukui S, Iwamoto N, Mochizuki Y, 他	リウマチ・膠原病内科	Eosinophilic granulomatosis with polyangiitis along with funiculitis and myelitis.	Int J Rheum Dis. 20(12):2203-2205, 2017.	Letter
137	Maeda Y, Nakane S, Higuchi O, 他	脳神経内科	Ganglionic acetylcholine receptor autoantibodies in patients with autoimmune diseases including primary biliary cirrhosis.	Mod Rheumatol. 27(4):664-668, 2017.	Original Article
138	Miyata Y, Matsuo T, Sagara Y, 他	泌尿器科・腎移植外科	A mini-review of reactive oxygen species in urological cancer: Correlation with NADPH oxidases, angiogenesis, and apoptosis.	Int J Mol Sci. 18(10), 2017	Review
139	Asai A, Miyata Y, Matsuo T, 他	泌尿器科・腎移植外科	Changes in lymphangiogenesis and vascular endothelial growth factor expression by neo-adjuvant hormonal therapy in prostate cancer patients.	Prostate; 77(3), 2017 Feb:255-262.	Original Article
140	Shida Y, Hakariya T, Takehara K, 他	泌尿器科・腎移植外科	Comparison between a combined transrectal and transperineal approach and a transrectal approach for prostate rebiopsy.	Anticancer Sep;36(9):4685-90., 2017.	Original Article
141	Matsuo T, Miyata Y, Sakai H	泌尿器科・腎移植外科	Daily salt intake is an independent risk factor for pollakiuria and nocturia.	Int J Urol; 2017 May;24(5):384-389.	Original Article
142	Matsuo T, Miyata Y, Sakai H	泌尿器科・腎移植外科	Editorial Comment to Nutrient intake and urinary incontinence in Korean women: A propensity score-matched analysis from the Korea National Health and Nutrition Examination Survey data.	Int J Urol; 2017 Nov;24(11):797-798	Original Article
143	Matsuo T, Miyata Y, Asai A, 他	泌尿器科・腎移植外科	Green Tea Polyphenol Induces Changes in Cancer-Related Factors in an Animal Model of Bladder Cancer.	PLoS One; 2017 Jan 31;12(1):e0171091	Original Article
144	Miyata Y, Mitsunari K, Akihiro A, 他	泌尿器科・腎移植外科	Human antigen R as a predictive marker for response to gemcitabine-based chemotherapy in advanced cisplatin-resistant urothelial cancer.	Oncol Lett; 2017 Feb;13(2):811-81	Original Article
145	Kakoki K, Miyata Y, Mochizuki Y, 他	泌尿器科・腎移植外科	Long-term treatment with sequential molecular targeted therapy for Xp11.2 translocation renal cell carcinoma: A case report and review of the literature.	Clin Genitourin Cancer; 2017 Jun;15(3):e503-e506	Case report
146	Miyata Y, Nakamura Y, Yasuda T, 他	泌尿器科・腎移植外科	Neoadjuvant hormonal therapy for low-risk prostate cancer induces biochemical recurrence after radical prostatectomy via increased lymphangiogenesis-related parameters.	Prostate; 2017 Oct;77(14):1408-1415	Original Article
147	Matsuo T, Miyata Y, Mitsunari K, 他	泌尿器科・腎移植外科	Pathological significance and prognostic implications of heme oxygenase 1 expression in non-muscle-invasive bladder cancer: Correlation with cell proliferation, angiogenesis, lymphangiogenesis and expression of VEGFs and COX-2.	Oncol Lett;2017 Jan;13(1):275-280.	Original Article
148	Mitsunari K, Miyata Y, Watanabe SI, 他	泌尿器科・腎移植外科	Stromal expression of Fer suppresses tumor progression in renal cell carcinoma and is a predictor of survival.	Oncol Lett; 2017 Feb;13(2):834-840	Original Article
149	Shida Y, Hakariya T, Miyata Y, 他	泌尿器科・腎移植外科	Three cases of nonmetastatic prostate cancer treated successfully with primary intermittent androgen deprivation therapy over 10 years.	Clin Case Rep; 2017 Feb 23;5(4):425-428.	Case report
150	Iwanaga A, Okubo Y, Yozaki M, 他	皮膚科・アレルギー科	Analysis of clinical symptoms and ABCC6 mutations in 76 Japanese patients with pseudo-xanthoma elasticum.	J Dermatol 44(6): 644-650, 2017	Original Article
151	Koike Y, Murayama N, Kuwatsuka Y, 他	皮膚科・アレルギー科	A case of Merkel cell carcinoma development under treatment with a Janus kinase inhibitor.	JAAD Case Rep 3(6): 498-500, 2017	Case report
152	Okubo Y, Masuyama R, Iwanaga A, 他	皮膚科・アレルギー科	Calcification in dermal fibroblasts from a patient with GGCCX syndrome accompanied by upregulation of osteogenic molecules.	PLoS One 12(5): e0177375, 2017	Case report
153	Koike Y, Okubo Y, Kiyohara T, 他	皮膚科・アレルギー科	Granulocyte and monocyte apheresis can control juvenile generalized pustular psoriasis with mutation of IL36RN.	Br J Dermatol 177(6): 1732-1736, 2017	Case report
154	Murayama N, Tomimura S, Kuwatsuka S, 他	皮膚科	More than a coincidence? Cholesterol crystal embolization in the unaffected abdominal skin.	J Dermatol 44(11): 1328-1329, 2017	Letter
155	Ashida M, Okubo Y, Iwanaga A, 他	皮膚科・アレルギー科	No rubbing, no elastosis perforans serpiginosa.	J Dermatol 44(8): e202-e203, 2017	Letter
156	Tenaka K, Kim SE, Yano H, 他	病理診断科・病理部	MIR-142 Is Required for Staphylococcus aureus Clearance at Skin Wound Sites via Small GTPase-Mediated Regulation of the Neutrophil actin Cytoskeleton.	J Invest Dermatol. 2017 Apr;137(4):931-940	Original Article
157	Hashimoto S, Yamasaki N, Doi R, 他	大腸・肛門外科	[Granuloma by Foreign Body Reaction to the Stapler Used for Partial Resection of the Lung].	Kyobu Geka. 2017;70(3):187-90.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
158	Mino S, Ozawa E, Ohnita K, 他	消化器内科	A case of IgG4-related disease presenting with multiple gastric submucosal tumors.	Gastrointest Endosc. 2017.	Case report
159	Green R, Abe K, Yoon HS, 他	病理診断科・病理部	Application of microscope-based scanning software (Panoptiq) for the interpretation of cervicovaginal cytology specimens.	Cancer. 2017;125(12):918-25.	Original Article
160	Udo E, Furusato B, Sakai K, 他	病理診断科・病理部	Ciliated muconodular papillary tumors of the lung with KRAS/ BRAF/ AKT1 mutation.	Diagn Pathol. 2017 Aug 22;12(1):62. doi: 10.1186/s13000-017-0651-2.	Original Article
161	Teraoka S, Fujimoto D, Morimoto T, 他	感染制御教育センター	Early Immune-Related Adverse Events and Association with Outcome in Advanced Non-Small Cell Lung Cancer Patients Treated with Nivolumab: A Prospective Cohort Study.	J Thorac Oncol. 2017 Dec;12(12):1798-1805. doi: 10.1016/j.jtho.2017.08.022. Epub 2017 Sep 20.	Original Article
162	Nakamura S, Hayashi K, Imaoka Y, 他	病理診断科・病理部	Intratumoral heterogeneity of programmed cell death ligand-1 expression is common in lung cancer.	PLOS One. 2017 Oct 9;12(10):e0186192. doi: 10.1371/journal.pone.0186192. eCollection 2017.	Original Article
163	Kitano H, Chung JY, Noh KH, 他	病理診断科・病理部	Synaptonemal complex protein 3 is associated with lymphangiogenesis in non-small cell lung cancer patients with lymph node metastasis.	J Transl Med. 2017 Jun 17;15(1):138. doi: 10.1186/s12967-017-1241-5.	Original Article
164	Futakuchi, M.; Ando, S.; Matsumoto, 他	病理診断科・病理部	Therapeutic and preventive effects of osteoclastogenesis inhibitory factor on osteolysis, proliferation of mammary tumor cell and induction of cancer stem cells in the bone microenvironment.	Int J Molecular Sciences 2018 Mar 16;19(3).	Original Article
165	Tabata K, Mori I, Sasaki T, 他	病理診断科・病理部	Whole-slide imaging at primary pathological diagnosis: Validation of whole-slide imaging-based primary pathological diagnosis at twelve Japanese academic institutes.	Pathol Int. 2017 Nov;67(11):547-554. doi: 10.1111/pin.12590.	Original Article
166	Machi H, Karata H, Yamane Y, 他	小児科	A Neonatal Case of Glial Choristoma of the Tongue Causing Airway Obstruction.	Case Rep Otolaryngol. 2017;2017:2413035. doi:10.1155/2017/2413035. Epub 2017 Sep 20.	Case report
167	Onizuka H, Sueyoshi E, Ishimaru H, 他	放射線科	Arterial injury during transcatheter arterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma: predictors of risk and outcome.	Abdom Radiol (NY). 42:2544-2550, 2017	Original Article
168	Sueyoshi E, Onizuka H, Nagayama H, 他	放射線科	Clinical importance of minimal enhancement of type B intramural hematomas of the aorta on computed tomography imaging.	J Vasc Surg 65:30-39, 2017	Original Article
169	Koike H, Sueyoshi E, Sakamoto I, 他	放射線科	Clinical significance of late phase of lung perfusion blood volume (Lung Perfusion Blood Volume) quantified by dual-energy computed tomography in patients With pulmonary thromboembolism.	J Thorac Imaging 32:43-49, 2017	Original Article
170	Koike H, Sueyoshi E, Sakamoto I, 他	放射線科	Correlation between lung perfusion blood volume and SPECT images in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension by balloon pulmonary angioplasty.	Clin Imaging 49:80-86, 2017	Original Article
171	Shimamoto A, Ashizawa K, Kido Y, 他	放射線科	CT and MRI findings of thymic carcinoid.	Br J Radiol 90(1071):20150341, 2017	Original Article
172	Onizuka H, Sueyoshi E, Sakamoto I, 他	放射線科	Dilation of inferior vena cava and iliac veins in elite athlete.	J Vasc Surg Venous Lymphat Disord 5: 575, 2017	Original Article
173	Ideguchi R, Ashizawa K, Akashi S, 他	放射線科	Malignant pleural mesothelioma with marked lymphatic involvement: a report of two autopsy.	Cases Case Report in Oncological Medicine 1-5, 2017	Case report
174	Yamazaki T, Kodaira T, Ota Y, 他	放射線科	Retrospective analysis of definitive radiotherapy for neck node metastasis from unknown primary tumor: Japanese Radiation Oncology Study Group Study Japanese.	Journal of Clinical Oncology 47:856-862, 2017	Original Article
175	Sueyoshi E, Nagayama H, Onizuka H, 他	放射線科	Successful treatment of cardiac tamponade after a closed-chest cardiac massage.	Ann Thorac Surg 103:e191, 2017	Case report
176	Sone D, Watanabe M, Ota M, 他	放射線科	Thalamic hypoperfusion and disrupted cerebral blood flow networks in idiopathic generalized epilepsy: Arterial spin labeling and graph theoretical analysis.	Epilepsy Res 129:95-100, 2017	Original Article
177	Iikebe Y, Sueyoshi E, Ishimaru H, 他	放射線科	Tumor emboli from aortic metastasis.	Intern Med 57:907-908, 2017	Original Article
178	Sekino M, Funaoka H, Sato S, 他	集中治療部	Intestinal fatty acid-binding protein level as a predictor of 28-day mortality and bowel ischemia in patients with septic shock: A preliminary study.	Journal of Critical Care 42: 92-100, 2017	Original Article
179	Ito M, Tobinai M, Yoshida S, 他	メディカル・ワークライフバランスセンター	Effect of monthly intravenous ibandronate injections on vertebral or non-vertebral fracture risk in Japanese patients with high-risk osteoporosis in the MOVER study.	J Bone Miner Metab 35(1): 58-64, 2017	Original Article
180	Sumi M, Sato S, Nakamura T	放射線科	Extranodal spread of primary and secondary metastatic nodes: The dominant risk factor of survival in patients with head and neck squamous cell carcinoma.	PloS one 12(8): e0183611, 2017	Original Article
181	Tabuchi Y, Morimoto Y, Yano Y, 他	リハビリテーション部	Risk Factors for Post-operative Respiratory Failure and Respiratory Tract Infections Following Cardiovascular Surgery. Kyobu geka.	The Japanese journal of thoracic surgery 70(13): 1051-1062, 2017	Original Article
182	Horai M, Mishima H, Hayashida C, 他	血液内科	Detection of de novo single nucleotide variants in offspring of atomic-bomb survivors close to the hypocenter by whole-genome sequencing.	J Hum Genet 2018 Mar;63(3):357-363.	Original Article
183	Kaku N, Morinaga Y, Takeda K, 他	検査部	Efficacy and pharmacokinetics of ME1100, a novel optimized formulation of arbekscin for inhalation, compared with amikacin in a murine model of ventilator-associated pneumonia caused by Pseudomonas aeruginosa.	J Antimicrob Chemother 72:1123-1128, 2017	Original Article
184	Nagaoka K, Yanagihara K, Morinaga Y, 他	検査部	In vivo antianaerobe activity of DS-8587, a new fluoroquinolone, against Fusobacterium necrophorum in a mouse model.	J Infect Chemother 23:131-135, 2017. Epub 2017 Jan 18	Original Article
185	Yamakawa H, Kosai K, Kawamoto Y, 他	検査部	Performance evaluation of BD Phoenix™, an automated microbiology system, for the screening of IMP-producing Enterobacteriaceae.	J Microbiol Methods 145:47-49, 2018. Epub 2017 Dec 16	Original Article
186	Kosai K, Iwanaga Y, Akamatsu N, 他	検査部	Performance evaluation of the Verigene® Clostridium difficile nucleic acid test, an automated multiplex molecular testing system for detection of C. difficile toxin.	J Infect Chemother 23:674-677, 2017. Epub 2017 Jul 24	Original Article
187	Kosai K, Kaku N, Uno N, 他	検査部	Risk Factors for Acquisition of Fluoroquinolone or Aminoglycoside Resistance in Addition to Carbapenem Resistance in Pseudomonas aeruginosa	The Open Microbiology Journal. 11: 92-7, 2017	Original Article
188	Takeda K, Kaku N, Morinaga Y, 他	検査部	Tedizolid inhibits MUC5AC production induced by methicillin-resistant Staphylococcus aureus in human airway epithelial cells.	J Infect Chemother 23:598-603, 2017. Epub 2017 Jul 17	Original Article
189	Ide S, Sakamoto N, Hara S, 他	呼吸器内科	Interstitial Lung Disease Induced by Pazopanib Treatment.	Intern Med 56:79-83, 2017. Epub 2017 Jan 1	Case report
190	Okada Y, Uno N, Sato S, 他	検査部	Strong influence of human leukocyte antigen-DP variants on response to hepatitis B vaccine in a Japanese population.	Vaccine. 35: 5662-5, 2017	Original Article
191	Kodama Y, Kuramoto H, Mieda Y, 他	薬剤部	Application of biodegradable dendrigraft poly-L-lysine to a small interfering RNA delivery system.	J Drug Target 25(1): 49-57, 2017.	Original Article
192	Iwanaga M, Kodama Y, Muro T, 他	薬剤部	Biocompatible complex coated with glycosaminoglycan for gene delivery.	J Drug Target 25(4): 370-8, 2017.	Original Article

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
2	<p>報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに属するものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を所属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)</p>				
3	<p>「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet alとする。</p>				
4	<p>「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。</p>				
5	<p>「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない)、巻数、該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。 記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)</p>				
6	<p>「論文種別」欄には、Original Article, Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。</p>				

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 手順書の主な内容 ヘルシンキ宣言その他研究等の領域に則した倫理に関する指針等の趣旨に沿った倫理的配慮を 踏ることを目的とし、新規申請に係る手続き・臨床研究実施中及び終了時の手続き等について記 載している。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に
「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員 会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 規定の主な内容 長崎大学及び長崎大学病院には以下の指針や規程が存在する。 「長崎大学利益相反マネジメントポリシー」 「長崎大学における臨床研究に係る利益相反ポリシー」 「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」 「長崎大学病院利益相反審査委員会規程」 臨床研究利益相反審査委員会は、「利益相反審査自己申告書」により、利益相反の管理を行う。 申告書により利益相反が明らかな場合、利益相反審査委員会は、申告書に添付された研究計画書	

に照らし合わせて適正な臨床研究が実施可能かどうかについて審議し、当事者への助言・指導・勧告等を行なう。なお、審議に際し、関係する各倫理委員会又は治験審査委員会の意見を聴取することができる。また、必要に応じて更なる情報収集・調査及びフォローアップも行う。（「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」より）

③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況

年 12 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況

年 13 回

・研修の主な内容

以下の研修等を本院臨床研究センター主催で実施した。

○平成29年度 臨床研究に関する研修会（11回）

内容：人を対象とする医学系研究に関する倫理指針について、個人情報保護に関する改正について、倫理委員会申請時の注意点について、多施設共同研究を実施する際の注意点について、臨床研究法について、統計学と研究不正についてなど

○平成29年度 シンポジウムの講演講習（2回）

内容：臨床研究中核病院と臨床研究法について、がんゲノム医療についてなど

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

長崎大学病院では、日本専門医機構に準ずる基本 19 領域のうちリハビリテーション科を除く 18 領域のプログラムがあり、県内外の関連病院、海外の拠点病院と連携して、高度専門医療を研修できるシステムを構築している。

大学病院連携型高度医療人養成推進事業により発足した医師育成キャリア支援室では、これまで個人で専門医の資格を取るために行っていたことを、大学病院が全面的にサポートし、できるだけ短期間で効率よく専門医資格修得できるよう、専門のコーディネーターによる支援を行っている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 63 人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
川上 純	リウマチ科	教授	33年	
川上 純	内分泌・代謝内科	教授	33年	
辻野 彰	脳神経内科	教授	29年	
迎 寛	呼吸器内科	教授	33年	
西野 友哉	腎臓内科	教授	21年	
中尾 一彦	消化器内科	教授	35年	
前村 浩二	循環器内科	教授	32年	
宮崎 泰司	血液内科	教授	32年	
有吉 紅也	感染症内科	教授	32年	
森内 浩幸	小児科	教授	34年	
竹中 基	皮膚科	准教授	29年	
小澤 寛樹	精神神経科	教授	33年	
永安 武	呼吸器外科	教授	31年	

江口 晋	肝胆膵外科・肝移植外科	教授	26年	
江石 清行	心臓血管外科	教授	36年	
尾崎 誠	整形外科	教授	27年	
増崎 英明	産婦人科	教授	41年	
北岡 隆	眼科	教授	35年	
高橋 晴雄	耳鼻咽喉科	教授	41年	
酒井 英樹	泌尿器科・腎移植外科	教授	35年	
松尾 孝之	脳神経外科	教授	29年	
上谷 雅孝	放射線科	教授	37年	
原 哲也	麻酔科	教授	26年	
福岡 順也	病理診断科	教授	23年	
柳原 克紀	検査部	教授	27年	
田崎 修	救急科	教授	28年	
田中 克己	形成外科	教授	34年	
前田 隆浩	総合診療科	教授	33年	
藤原 卓	小児歯科	教授	35年	
吉田 教明	矯正歯科	教授	32年	
朝比奈 泉	歯科口腔外科	教授	35年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容 看護部専門コース 外傷初期看護

・研修の期間・実施回数 平成29年8月5日（全1回）

・研修の参加人数 10名

・研修の主な内容 看護部専門コース せん妄対策

・研修の期間・実施回数 平成29年6月14日～平成29年10月11日（全5回）

・研修の参加人数 延べ53名

・研修の主な内容 看護部専門コース 退院支援

・研修の期間・実施回数 平成29年7月12日～平成29年11月15日（全5回）

・研修の参加人数 延べ105名

・研修の主な内容 看護部専門コース 災害急性期看護

・研修の期間・実施回数 平成29年6月26日～平成29年10月23日（全5回）

・研修の参加人数 延べ66名

・研修の主な内容 看護部専門コース 緩和ケア

・研修の期間・実施回数 平成29年8月26日 9月8日（全2回）

・研修の参加人数 延べ44名

・研修の主な内容 看護部専門コース 腎不全看護

・研修の期間・実施回数 平成29年8月18日～平成29年12月12日（全5回）

・研修の参加人数 延べ44名

・研修の主な内容 看護部専門コース 認知症看護

・研修の期間・実施回数 平成29年6月20日～平成29年11月21日（全6回）

・研修の参加人数 延べ34名

・研修の主な内容 看護部専門コース 看護倫理

・研修の期間・実施回数 平成29年6月8日～平成30年1月11日（全5回）

・研修の参加人数 延べ53名

・研修の主な内容 看護部専門コース 移植医療と移植コーディネーター

・研修の期間・実施回数 平成29年6月13日～平成29年12月12日（全7回）

・研修の参加人数 延べ154名

・研修の主な内容 看護部専門コース がん化学療法看護

・研修の期間・実施回数 平成29年9月30日（全1回）

・研修の参加人数 25名

・研修の主な内容 看護部専門コース 感染管理

・研修の期間・実施回数 平成29年6月16日～平成28年12月15日（全6回）

・研修の参加人数 延べ99名

・研修の主な内容 看護部専門コース 褥瘡対策

・研修の期間・実施回数 平成29年6月8日～平成29年11月1日（全6回）

・研修の参加人数 延べ137名

・研修の主な内容 看護部専門コース 周手術期看護

・研修の期間・実施回数 平成29年6月1日～平成29年11月2日（全6回）

・研修の参加人数 延べ18名

・研修の主な内容 看護部専門コース 治験と看護師の役割

・研修の期間・実施回数 平成29年6月15日～平成29年11月16日（全5回）

・研修の参加人数 延べ10名

・研修の主な内容 看護部専門コース ストーマケア

・研修の期間・実施回数 平成29年6月23日～平成29年11月16日（全6回）

・研修の参加人数 延べ16名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース 急変対応シミュレーション（ベーシック） ・研修の期間・実施回数 平成29年7月29日 9月30日 11月25日（全3回） ・研修の参加人数 延べ15名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース 急変対応シミュレーション（アドバンス） ・研修の期間・実施回数 平成29年8月19日 10月28日 12月23日（全3回） ・研修の参加人数 延べ12名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース シミュレータ教育指導者養成 ・研修の期間・実施回数 平成29年7月3日～平成29年11月6日（全5回） ・研修の参加人数 延べ28名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 フィジカルアセスメント講習会 ・研修の期間・実施回数 毎年5月～3月：計12回 ・研修の参加人数 24名（長崎県下薬局および病院勤務の薬剤師）
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 新採用薬剤師研修プログラム、(2) 薬剤管理指導業務研修、(3) 休日TDM測定業務研修 ・研修の期間・実施回数 <ul style="list-style-type: none"> (1) 6ヶ月（調剤業務48回、注射薬室業務30回、抗癌剤調製6回、麻薬業務2回）、 (2) 6ヶ月、週2時間 (3) 2ヶ月間、計3回 ・研修の参加人数 <ul style="list-style-type: none"> (1) (2) 9名（勤務1年目の薬剤師）、(3) 1名（勤務2年目の薬剤師）
<p>③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース 外傷初期看護 ・研修の期間・実施回数 平成29年8月5日（全1回） ・研修の参加人数 4名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース 退院支援 ・研修の期間・実施回数 平成29年7月12日～平成29年11月15日（全5回） ・研修の参加人数 延べ32名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース 緩和ケア ・研修の期間・実施回数 平成29年8月26日 9月8日（全2回） ・研修の参加人数 延べ44名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース がん化学療法看護 ・研修の期間・実施回数 平成29年9月30日（全1回） ・研修の参加人数 24名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護部専門コース 災害急性期看護 ・研修の期間・実施回数 平成29年6月26日～平成29年10月23日（全5回） ・研修の参加人数 延べ14名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 地域の訪問看護師対象研修（くすのき塾） 在宅でみる褥瘡ケアの極意 ・研修の期間・実施回数 平成29年9月23日（全1回） ・研修の参加人数 16名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 地域の訪問看護師対象研修（くすのき塾） 在宅での呼吸ケア～きいて・みて・さわって！～ ・研修の期間・実施回数 平成29年10月14日（全1回） ・研修の参加人数 20名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 地域の訪問看護師対象研修（くすのき塾） 最新!がん化学療法の基礎知識 ・研修の期間・実施回数 平成29年12月16日（全1回） ・研修の参加人数 19名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 地域の訪問看護師対象研修（くすのき塾） 地域で看よう！糖尿病セルフケア支援のコツ ・研修の期間・実施回数 平成30年1月27日（全1回） ・研修の参加人数 8名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 地域の訪問看護師対象研修（くすのき塾） 長崎大学病院研修（小児科・NICU見学実習） ・研修の期間・実施回数 平成29年11月21日～11月22日（全2回） ・研修の参加人数 1名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 地域の訪問看護師対象研修（くすのき塾） 最新！がん化学療法見学実習 ・研修の期間・実施回数 平成30年2月16日 2月26日 2月28日（全3回） ・研修の参加人数 3名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 地域の訪問看護師対象研修（くすのき塾） 褥瘡ケア見学実習 ・研修の期間・実施回数 平成30年2月8日（全1回） ・研修の参加人数 3名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 地域の訪問看護師対象研修（くすのき塾） 緩和ケア見学実習 ・研修の期間・実施回数 平成30年2月13日 2月20日（全2回） ・研修の参加人数 2名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 マスターしよう！BLS ・研修の期間・実施回数 平成29年6月16日（全1回） ・研修の参加人数 3名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 心電図の基本 ・研修の期間・実施回数 平成29年7月21日（全1回） ・研修の参加人数 3名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看取り期のケア ・研修の期間・実施回数 平成29年11月10日（全1回） ・研修の参加人数 3名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 人工呼吸管理の基礎 ・研修の期間・実施回数 平成29年12月8日（全1回） ・研修の参加人数 3名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 <input type="checkbox"/> 2. 現状 <input checked="" type="checkbox"/>
管理責任者氏名	病院長 増崎 英明
管理担当者氏名	放射線部長 上谷 雅孝 感染制御教育センター長 泉川 公一 総務課長 上田 祐介 医事課長 吉井 孝博 薬剤部長 佐々木 均 ME機器センター長 前村 浩二 人事企画課長 森田 浩司 医療安全課長 吉田 義正

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	※
		看護記録	※
		検査所見記録	※
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	※
退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書			※手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書については、電子カルテ及び紙媒体にて診療情報管理室にて管理・保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事企画課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課、医事課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全課
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療安全課 感染制御教育センター
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全課 感染制御教育センター
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全課 感染制御教育センター
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全課 感染制御教育センター
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	ME機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全課
		職員研修の実施状況	医療安全課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全課 薬剤部 ME機器センター
		管理者が有する権限に関する状況	総務課、人事企画課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	<input checked="" type="radio"/> 2. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 浜村 博	
閲覧担当者氏名	総務課長 上田 祐介	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の手続の概要		
長崎大学広報戦略本部において、「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、法人文書開示請求手続きを行っている。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 1件 (閲覧者: 報道機関)
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○医療安全管理に関する基本的考え方 ○医療安全管理委員会及びその他の組織に関する基本的事項 ○医療安全管理のための職員研修に関する基本方針 ○事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ○医療事故発生時の対応に関する基本方針 ○医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 ○患者等からの相談への対応に関する基本方針 ○その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無 (有・無) ○医療安全管理委員会 (月1回開催) ○リスクマネージャー会議 (月1回開催) ・ 開催状況：年 23回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○院内インシデント・アクシデント報告等情報収集 ○医療安全管理のための具体的対策等の検討及び推進 ○医療安全管理のための教育及び研修等の決定 ○インシデント・アクシデントレポートの分析の報告 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容 (すべて)： ①平成29年5月22日 第1回医療安全研修会 「セキュリティー対策講習会」 浦上警察署 生活安全課 泉博之 警部補 ②平成29年6月29日 第2回医療安全研修会 「医薬品の安全管理に関する話題」 安全管理部 薬剤部GRM 中川博雄 「新しい『血液製剤の使用指針』について：安全管理の観点から」 細胞療法部 副部長 長井 一浩 医師 ③平成29年11月29日 第3回医療安全研修会 「医療安全を取り巻く状況の変化」 安全管理部 副部長 栗原慎太郎 医師 ④平成30年2月20日 第4回医療安全研修会 「眠剤の正しい使い方」 精神神経科 野畑宏之 医師 「医薬品の安全管理に関する話題」 安全管理部 薬剤部GRM 中川博雄 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○医療事故防止対策マニュアルの改訂 ○インシデントレポート報告システムの改良 ○安全管理部部員等による院内巡視 ○医療安全ポケットマニュアルの改訂 ○安全管理部カンファレンス (週1回実施) 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>1) 院内感染対策委員会の設置、2) 職員研修の実施、3) 病院感染発生時の対応、4) 院内感染対策マニュアルの策定、5) 院内感染防止に関する患者への情報提供と説明、6) その他の病院における院内感染対策の推進</p> <p>以上について明記。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>耐性菌の発生状況、手指衛生遵守状況、蓄尿率、公開 ICT ラウンド等の報告、承認を行う。 委員長：病院長、他委員数 10 名、計 11 名全員の出席をもって開催される。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>① 平成 29 年 6 月 29 日 第 1 回院内感染対策講習会 「日常からできる、未来のための薬剤耐性菌対策」 感染制御教育センター 河野圭 医師</p> <p>② 平成 29 年 8 月 25 日 第 2 回院内感染対策講習会 「鹿児島大学病院における感染制御の取り組み」 鹿児島大学病院 医療環境安全部 感染制御部門 部門長 川村英樹 医師</p> <p>③ 平成 29 年 11 月 29 日 第 3 回院内感染対策講習会 「職業感染対策」～針刺し・皮膚粘膜曝露対策～ 感染制御教育センター 寺坂陽子 看護師/河野圭 医師</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内で検出された耐性菌、無菌検体からの微生物検出状況は毎朝の会議にて微生物検査室から報告がある。インフルエンザやノロウイルス、結核など伝染性疾患に関する塗抹情報や抗原検出状況はリアルタイムに報告がある。以上のうち、院内感染対策上重要な微生物が検出された場合はその都度検出された部署へ赴き、実際の感染対策を指導している。それらは記録として保存している。</p> <p>また、週に 1 回は病棟、外来、中央診療棟などを多職種からなる ICT チームでラウンドし、感染対策の現状の把握と on the job training を実践している。</p> <p>さらに、広域抗菌薬・抗真菌薬使用患者を土曜、休日以外の連日、ピックアップし、薬剤師を中心に医師・看護師・検査技師を交えた AST チームでカンファレンスを行い、主治医にカルテ上でのコメントを通じて抗菌薬適正使用支援 (ASP) 活動を行っている。</p> <p>なお、本活動の一環として、連日、微生物検査室からの報告を用いて血液培養ラウンドを行い、感染症診療支援、抗菌薬適正使用支援を行っている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>「医薬品の安全管理に関する話題」（講師：安全管理部薬剤師GRM） 実施日：平成29年6月29日、イントラネット動画研修、受講人員： 2206 人（ 96 %）</p> <p>「医薬品の安全管理に関する話題」（講師：安全管理部薬剤師GRM） 「眠剤の正しい使い方」（講師：精神神経科助教） 実施日：平成30年2月20日、イントラネット動画研修、受講人員： 1164 人（ 51 %）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の採用・購入に関する事項 2. 医薬品の管理に関する事項（購入～薬剤部内の管理） 3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 4. 患者に対する服薬指導に関する事項 5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い 6. 病棟、中央診療部門、外来における医薬品の管理 7. 他施設（病院等、薬局等）との連携に関する事項 8. 輸血・血液管理担当部門と責任者の設置等 9. 薬剤投与のための機器使用 10. 放射性医薬品の管理 11. 臨床検査薬の管理 12. 造影剤の管理、使用 13. 院内製剤の取り扱いについて 14. 未承認新規医薬品の使用及び医薬品医療機器等の適応外使用について 15. 当該手順書の順守状況の確認 <p>実施状況：年 1 回順守状況のチェックを各部署で行い、その内容を医薬品安全管理責任者がすべて確認している。問題があれば改善のための指導を行う。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：無し</p>	

・ その他の改善のための方策の主な内容：

【収集方法】

未承認等の医薬品の使用情報について、未承認新規医薬品に関しては使用申出の担当部署である医薬品医療機器等安全管理専門委員会（以下、薬機専）で把握している。その他の適応外使用等、未承認等の使用については、薬剤部において、薬剤交付時の鑑査や入院患者に対する病棟薬剤業務において把握したものを記録している他、診療科からの申請・報告により薬機専でも把握している。医薬品の採用時には、添付文書他、IF、文献等を収集している。添付文書等の改訂については、各メーカーのMRから連絡、DSUなどの発信について確認を行い、最新の添付文書等を入手するようにしている。

【周知方法】

・ 未承認新規医薬品に関しては担当部署である薬機専の委員長より医療安全管理委員会において定期的に報告している。その他の未承認等についても、把握した件数を医療安全管理委員会へ報告している。

・ 改訂された情報の全てを、薬剤部各部署へ文書で通知を行っている。また、病棟、診療科（診療科長、医局長）、中央診療部（部長、副部長等）に対しては、緊急安全性情報、安全性速報、DSU、医薬品医療機器等安全性情報、DI newsの情報発信を行っている。緊急安全性情報は、当該医薬品を使用している医師に電子カルテのコミュニケーション機能、面談による文書交付にて周知を図っている。

・ また、薬剤部イントラネットには、薬剤部より発信した医薬品の安全使用に関わる情報の記録を、全て確認できるように掲載している。院内医薬品情報検索システム（DICS）には改訂された添付文書の情報が更新されるまで、新しい添付文書のPDFファイルを掲載している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無																																																								
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年17回																																																								
<p>・ 研修の主な内容： 新しい医療機器の導入時の研修 特定機能病院における定期研修 (事項) 有効性・安全性に関する事項 使用方法に関する事項 保守点検に関する事項 不具合が発生した場合の対応に関する事項 使用に関して特に法令上遵守すべき事項など</p>																																																									
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況																																																									
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <table border="0"><tr><td>人工呼吸器</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>輸液ポンプ</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>シリンジポンプ</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>経腸栄養ポンプ</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>除細動器</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>閉鎖式保育器</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>人工心肺装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>IABP</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>経皮的補助循環装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>フットポンプ</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>体外式ペースメーカー</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>補助人工心臓駆動装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>麻酔器</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>電気手術器</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>内視鏡</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>内視鏡装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>直線加速装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>診療用放射線照射装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>放射線関連装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>心電計</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>脳波計</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>超音波診断装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>AED</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>血液浄化装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>透析液作製関連装置</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>手術支援ロボットシステム</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>超音波手術器</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr><tr><td>歯科関連機器</td><td>: 外観点検、性能・機能点検など</td></tr></table>		人工呼吸器	: 外観点検、性能・機能点検など	輸液ポンプ	: 外観点検、性能・機能点検など	シリンジポンプ	: 外観点検、性能・機能点検など	経腸栄養ポンプ	: 外観点検、性能・機能点検など	除細動器	: 外観点検、性能・機能点検など	閉鎖式保育器	: 外観点検、性能・機能点検など	人工心肺装置	: 外観点検、性能・機能点検など	IABP	: 外観点検、性能・機能点検など	経皮的補助循環装置	: 外観点検、性能・機能点検など	フットポンプ	: 外観点検、性能・機能点検など	体外式ペースメーカー	: 外観点検、性能・機能点検など	補助人工心臓駆動装置	: 外観点検、性能・機能点検など	麻酔器	: 外観点検、性能・機能点検など	電気手術器	: 外観点検、性能・機能点検など	内視鏡	: 外観点検、性能・機能点検など	内視鏡装置	: 外観点検、性能・機能点検など	直線加速装置	: 外観点検、性能・機能点検など	診療用放射線照射装置	: 外観点検、性能・機能点検など	放射線関連装置	: 外観点検、性能・機能点検など	心電計	: 外観点検、性能・機能点検など	脳波計	: 外観点検、性能・機能点検など	超音波診断装置	: 外観点検、性能・機能点検など	AED	: 外観点検、性能・機能点検など	血液浄化装置	: 外観点検、性能・機能点検など	透析液作製関連装置	: 外観点検、性能・機能点検など	手術支援ロボットシステム	: 外観点検、性能・機能点検など	超音波手術器	: 外観点検、性能・機能点検など	歯科関連機器	: 外観点検、性能・機能点検など
人工呼吸器	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
輸液ポンプ	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
シリンジポンプ	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
経腸栄養ポンプ	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
除細動器	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
閉鎖式保育器	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
人工心肺装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
IABP	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
経皮的補助循環装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
フットポンプ	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
体外式ペースメーカー	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
補助人工心臓駆動装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
麻酔器	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
電気手術器	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
内視鏡	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
内視鏡装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
直線加速装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
診療用放射線照射装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
放射線関連装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
心電計	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
脳波計	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
超音波診断装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
AED	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
血液浄化装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
透析液作製関連装置	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
手術支援ロボットシステム	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
超音波手術器	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								
歯科関連機器	: 外観点検、性能・機能点検など																																																								

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 無)
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば) : 無

・ その他の改善のための方策の主な内容 :

- ・ 日本医療機能評価機構やPMDA、製造販売企業などからの情報を収集し、医療安全管理委員会や安全管理部、リスクマネージャー会議へ報告すると共に、RMニュースとして各リスクマネージャーへメールで配信し、リスクマネージャーから所属スタッフへ周知を行っている。
- ・ 機器の取扱説明書や添付文書を院内どこからでも閲覧可能なシステムを構築している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有 無														
<p>・責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全担当の副病院長は、医療安全管理部門の長を兼任し、医薬品安全管理責任者および医療機器安全管理責任者は、医療安全に関する委員会 (医療安全管理委員会) の構成員であり、各委員会の報告を医療安全管理委員会において実施している。</p>															
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (12名) ・ 無														
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>① 医薬品情報資料の収集、整理、保管及び情報の加工と専門的評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学術雑誌等よりの情報収集 2) 製薬会社の医薬情報担当者 (MR ; medical representatives) よりの情報収集 3) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者よりの情報収集 4) 資料の整理・保管・管理 5) 書籍・雑誌等の購入 <p>② 医薬品に関する情報の伝達</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医薬品集の作製、改訂 2) 全診療科・病棟・中央診療部への定期的な情報伝達 3) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者への情報提供 4) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者との情報共有 5) 他の病院薬局への情報提供 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認新規医薬品に関しては、医薬品安全管理責任者が委員長を務める医薬品医療機器等安全管理専門委員会 (以下、薬機専) において、未承認新規医薬品等評価委員会の意見を参考に申出の受付と使用の可否等を決定する業務を担当している。</p> <p>その他の未承認等の医薬品の使用状況については薬剤部に使用状況の把握と必要に応じた提案等の業務を行わせている他、薬機専でも把握している。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有) ・ 無</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>(所属：薬剤部，職種 薬剤師)</td> <td>(所属：安全管理部，職種 医師)</td> </tr> <tr> <td>(所属：循環器内科，職種 医師)</td> <td>(所属：泌尿器科，職種 医師)</td> </tr> <tr> <td>(所属：移植・消化器外科，職種 医師)</td> <td>(所属：第一内科，職種 医師)</td> </tr> <tr> <td>(所属：顎・口腔再生外科学，職種 歯科医師)</td> <td>(所属：感染制御教育センター，職種 医師)</td> </tr> <tr> <td>(所属：小児科，職種 医師)</td> <td>(所属：安全管理部，職種 医師)</td> </tr> <tr> <td>(所属：看護部，職種 看護師)</td> <td>(所属：事務部，職種 事務職員)</td> </tr> <tr> <td>(所属：薬剤部，職種 薬剤師)</td> <td>(所属：ME機器センター，職種 臨床工学技士)</td> </tr> </table>		(所属：薬剤部，職種 薬剤師)	(所属：安全管理部，職種 医師)	(所属：循環器内科，職種 医師)	(所属：泌尿器科，職種 医師)	(所属：移植・消化器外科，職種 医師)	(所属：第一内科，職種 医師)	(所属：顎・口腔再生外科学，職種 歯科医師)	(所属：感染制御教育センター，職種 医師)	(所属：小児科，職種 医師)	(所属：安全管理部，職種 医師)	(所属：看護部，職種 看護師)	(所属：事務部，職種 事務職員)	(所属：薬剤部，職種 薬剤師)	(所属：ME機器センター，職種 臨床工学技士)
(所属：薬剤部，職種 薬剤師)	(所属：安全管理部，職種 医師)														
(所属：循環器内科，職種 医師)	(所属：泌尿器科，職種 医師)														
(所属：移植・消化器外科，職種 医師)	(所属：第一内科，職種 医師)														
(所属：顎・口腔再生外科学，職種 歯科医師)	(所属：感染制御教育センター，職種 医師)														
(所属：小児科，職種 医師)	(所属：安全管理部，職種 医師)														
(所属：看護部，職種 看護師)	(所属：事務部，職種 事務職員)														
(所属：薬剤部，職種 薬剤師)	(所属：ME機器センター，職種 臨床工学技士)														
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有 無														
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有) ・ 無)</p>															

<p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 : 説明に関する責任者は、医療安全部門の GRM が担当し、説明に関するガイドラインを作成し、診療録管理を担当する委員会である病歴委員会の委員となり、診療録の質的管理を実施する段階で、説明と同意に関する監査項目を確認し、診療部門へフィードバックする。また、説明・同意において、医師以外の職種の同席や説明記載についても推進する。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	(有)・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 診療録及び退院時要約の記載内容について監査及び報告、法令に基づく診療録の管理、診療情報記録の提供</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	(有)・無
<p>・所属職員：専従 (5) 名、専任 () 名、兼任 (4) 名 うち医師：専従 (1) 名、専任 () 名、兼任 () 名 うち薬剤師：専従 (1) 名、専任 () 名、兼任 (1) 名 うち看護師：専従 (2) 名、専任 () 名、兼任 (1) 名 うち事務職員専従 (1) 名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p><input type="checkbox"/> 医療事故防止対策マニュアルの改訂 <input type="checkbox"/> 安全管理部部員等による院内巡視 <input type="checkbox"/> インシデントレポートの分析 <input type="checkbox"/> 死亡事例の把握・検証 <input type="checkbox"/> 安全管理部カンファレンス (週 1 回実施)</p> <p><input type="checkbox"/> 医療安全研修会について、e-ラーニングにおいてテストを実施し、点数によって評価している</p> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数 (0 件)、及び許可件数 (0 件)</p> <p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無 ((有)・無)</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 ((有)・無)</p>	

・活動の主な内容：高難度新規医療技術評価委員会と連携し、高難度新規医療技術の導入に係る申請に対する実施の可否についての判定及び実施後のモニタリングを行っている。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（44件）、及び許可件数（44件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）

・活動の主な内容：

医薬品医療機器等安全管理委員会が、医療安全管理委員会と連携し、次の各号に掲げる事項について審議している。

(1) 医薬品医療機器等の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び改定に関すること。

(2) 従業者に対する医薬品医療機器等の安全使用のための研修に関すること。

(3) 医薬品医療機器等の安全使用のための手順書に基づく業務に関すること。

(4) 医薬品医療機器等の安全使用のため必要となる情報の収集その他の医薬品の安全

(5) 本院で使用したことのない医薬品又は高度管理医療機器であって、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）（以下「医薬品医療機器等法」という。）における承認又は認証を受けていないもの（以下「未承認新規医薬品等」という。）を用いた医療を提供する場合について、使用条件を定め、使用の適否等を決定する。

(6) 医薬品医療機器等法における承認又は認証を受けている医薬品又は高度管理医療機器について、本院において、承認若しくは認証と異なる使用又は禁忌に該当する使用を伴う医療を提供する場合について、使用条件を定め、使用の適否等を決定する。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

<p>⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p> <ul style="list-style-type: none">・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 254 件・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の実態及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 44 件・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容<ul style="list-style-type: none">○医療事故防止対策マニュアルの改訂○安全管理部部員等による院内巡視○インシデントレポートの分析○死亡事例の把握・検証○安全管理部カンファレンス（週 1 回実施）
<p>⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">・他の特定機能病院等への立入り（<input checked="" type="radio"/>有）（病院名：新潟大学医歯学総合病院）・無・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（<input checked="" type="radio"/>有）（病院名：香川大学医学部附属病院）・無・技術的助言の実施状況<ul style="list-style-type: none">・新システムの導入に向け検討を実施しており、また人員の配置についても検討している。
<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <ul style="list-style-type: none">・体制の確保状況 総合患者支援部に患者相談室を設置し、患者家族等からの医学的な質問、医療安全に係る相談等、様々な相談を患者相談窓口にて一元的に対応し、必要に応じて、助言、情報提供等を行いながら患者家族等を支援している。
<p>⑫ 職員研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">・研修の実施状況<ul style="list-style-type: none">①平成 29 年 5 月 22 日 「セキュリティー対策講習会」 浦上警察署 生活安全課 泉博之 警部補②平成 29 年 6 月 29 日 「医薬品の安全管理に関する話題」安全管理部 薬剤部 GRM 中川博雄 先生 「新しい『血液製剤の使用指針』について安全管理の観点から」 細胞療法部 副部長 長井 一浩 先生③平成 29 年 11 月 29 日 「医療安全を取り巻く状況の変化」安全管理部 副部長 栗原慎太郎 先生④平成 30 年 2 月 20 日 「眠剤の正しい使い方」精神神経科 野畑宏之 先生 「医薬品の安全管理に関する話題」安全管理部 薬剤部 GRM 中川博雄 先生

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者については、すでに医療安全に関する講習を受講している。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

平成29年度安全管理部研修会開催状況

安全管理部

H30.3.31現在

	研修内容	開催日	オンライン	研修講師名(所属)	受講人員 全体人数(%)
1	平成29年度 第1回医療安全研修会 ①「セキユリテイー対策講習会」	平成29年5月22日 (DVD) 平成29年5月29日 平成29年5月30日 平成29年5月31日		①浦上警察署 生活安全課 泉 博之 警部補	(全体) 2295人 (受講者) 2101人
2	平成29年度 第2回医療安全研修会 ①「医薬品の安全管理に関する話題」 ②「新しい「血液製剤の使用指針」について:安全管理の観点から」	824人 平成29年6月29日 (DVD) 平成29年7月6日 平成29年7月7日 平成29年7月11日 836人	1277人	①安全管理部 薬剤部GRM 中川 博雄 先生 ②細胞療法部 副部長 長井 一浩 先生	受講率 92% (全体) 2295人 (受講者) 2206人 受講率 96%
3	平成29年度 第3回医療安全研修会 ①「医療安全を取り巻く状況の変化」	平成29年11月29日 (DVD) 平成29年12月4日 平成29年12月5日		①安全管理部 副部長 栗原 慎太郎 先	(全体) 2295人 (受講者) 2080人
4	平成29年度 第4回医療安全研修会 ①「眼剤の正しい使い方」 ②「医薬品の安全管理に関する話題」	610人 平成30年2月20日 (DVD) なし 142人	1470人	①精神神経科 野畑 宏之先生 ②安全管理部 薬剤師GRM 中川 博雄 先生	受講率 91% (全体) 2295人 (受講者) 1164人 受講率 51%
	合計	2412人	5139人		7551人(82%)

規則第 7 条の 2 第 1 項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none">・ 基準の主な内容 【長崎大学病院長選考規程より抜粋】 第3条 病院長となることのできる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。 (1) 医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 10 条第 2 項に基づき主として医業を行う病院を管理することができる者 (2) 医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有する者 (3) 組織管理能力等の長崎大学病院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有する者・ 基準に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無）・ 公表の方法 大学ホームページにて公表。

規則第 7 条の 3 第 1 項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無			
<ul style="list-style-type: none">・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有・無）・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（有・無）・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有・無）・ 公表の方法				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の2 3 第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有)・無	
<p>・合議体の主要な審議内容 【長崎大学病院運営会議規程より抜粋】 (審議事項) 第2条 運営会議は、次に掲げる事項について審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 経営・運営方針に関すること。 (2) 中期目標・中期計画に関すること。 (3) 教育・研究活動に関すること。 (4) 規程等の制定及び改廃に関すること。 (5) 教育研究組織に関する事項 (6) 予算及び決算に関する事項 (7) 教員の採用及び昇任に関する事項 (8) 教員の再任に関する事項 (9) その他病院の管理運営に関する重要な事項 <p>・審議の概要の従業者への周知状況 院内HP (イントラネット) に病院運営会議の議事要旨を掲載している。また、診療科長等会議、看護部運営会議で会議の概要報告を行うとともに、事務部においては、課内連絡会で議題内容の報告をするなどして情報共有を行っている。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・公表の方法 大学ホームページにて公表。</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無 ((有) 無)</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
増崎 英明	○	医師	理事 (病院担当) ・病院長
下川 功		医師	理事 (研究・国際担当)
米倉 正大		外部有識者 (長崎県 病院企業団企業長)	病院長特別補佐
福崎 博孝		外部有識者 (弁護士)	病院顧問

大浦 由美子		外部有識者	外交アドバイザー
原 哲也		医師	副病院長「企画広報」「人事」
前村 浩二		医師	副病院長「総務」
尾崎 誠		医師	副病院長「安全」
酒井 英樹		医師	副病院長「診療」
中尾 一彦		医師	副病院長「経営」
藤原 卓		歯科医師	副病院長「歯科統括」
貞方 三枝子		看護師	副病院長「看護統括」
浜村 博		事務職員	副病院長「事務統括」
浜田 久之		医師	病院長補佐「教育」
山本 弘史		薬剤師	病院長補佐「研究」
泉川 公一		医師	病院長補佐「国際」
室田 浩之		医師	病院長補佐「施設」
山下 利佳		歯科医師	病院長補佐「福利厚生」
田崎 修		医師	高度救命救急センター長
佐々木 均		薬剤師	薬剤部長
南 惣一郎		臨床検査技師	医療技術部長

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)
- ・ 公表の方法

大学ホームページにて公表。

- ・ 規程の主な内容

【長崎大学病院規則より抜粋】

(病院長)

第3条 本院に、病院長を置く。

2 病院長は、病院の管理運営をつかさどり、所属職員を統括する。

【長崎大学会計規則より抜粋】

(予算責任者)

第10条 予算管理単位に予算責任者を置き、部局長をもって充てる。

なお、人事権について、「副病院長等の選考に関する申合せ」により、各種メディカルスタッフの選考基準が定められており、病院長が指名することとなっているが、一部、医学部で選考された講座の教授を診療科長とするなど「充て職」が存在するため、医学部と調整を行い、対応を検討する予定である。

- ・ 管理者をサポートする体制 (副院長、院長補佐、企画スタッフ等) 及び当該職員の役割

病院長の職務を補佐する者として副病院長を置き、病院長の職務のうち特定事項の職務を補佐する者として病院長補佐を置いている。また、本院の管理運営に関し、病院長に助言等を行う者として病院長特別補佐を置き、病院長の諮問に応じ意見を具申する役割として、病院顧問を置いている。

さらに、企画の分野においては、企画広報室を院内に設置し、病院運営・経営に係る企画の策定及び広報関連業務を戦略的に行っている。また、病院長の諮問機関として、運営戦略部及び外部有識者 (経営戦略アドバイザー) を含む経営戦略部を設置し、多職種からなるメンバーで会議を行い、企画立案を行っている。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

(人事)

副病院長の選考は、各診療部門の診療部門長、各診療科の診療科長、各治療室の治療室長、中央診療施設の各部長 (各センター長、機構長及び各室長を含む。)、薬剤部長、看護部長及び事務部長のうちから病院長が指名するものとし、病院長補佐の選考は、各診療部門の診療部門長、各診療科の診療科長、各治療室の治療室長、中央診療施設の各部長 (各センター長、機構長及び各室長を含む。) 及び薬剤部長のうちから病院長が指名するものとしている。

(研修)

全国病院長会議等が主催する分野別、職階別の各種研修会に執行部職員を積極的に参加させている。また、経営面に特化した研修として、千葉大学主催の「ちば医経塾 - 病院経営スペシャリスト養成プログラム -」に科目履修生を含め、多数の看護・事務職員を参加させ、その育成を図っている。さらに、日本医療機能評価機構主催の特定機能病院管理者研修にも毎年対象者を参加させている。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況		<input checked="" type="radio"/> 有・無			
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>以下の活動を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理に関する責任者、医薬品安全管理に関する責任者、医療機器安全管理に関する責任者、安全管理部及び医療安全管理委員会が行う業務の状況について病院長から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施すること。 ・ 必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。 ・ 上記に掲げる事項について、その結果を公表すること。 <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="radio"/> 有・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="radio"/> 有・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="radio"/> 有・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/> 有・無）</p> <p>・ 公表の方法：病院ホームページにて公表。</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
近本 亮	熊本大学医学部 附属病院	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1

川添 志	山下・川添総合 法律事務所		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	1
星田 美鈴			医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	2
長谷川ゆり	本院産科婦人科			<input checked="" type="radio"/> 有 無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

学外の弁護士に病院顧問を委嘱し、必要に応じて、本院運営に係る法的な助言を得ている。また、病院運営会議（毎週開催）に学長指名の理事及び学外者（長崎県病院企業団企業長、弁護士、外交アドバイザー）が構成員として出席している。さらに、役員会や経営協議会（外部委員を含む）において、病院の決算状況等の審議がなされており、毎年監事監査を受審している。

- ・ 専門部署の設置の有無（ 有 無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 公表の方法 大学ホームページにて公表。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<p>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況</p> <p>役員会（病院長が理事として出席）及び経営協議会で病院決算状況等について審議を行っていること、病院運営会議（毎週開催）に学長指名の理事が構成員として出席していること、並びに、毎年、監事監査を受審していることから、業務の監督体制は整備されている。</p>			
<p>・ 会議体の実施状況（平成29年度：役員会 年20回、経営協議会 年7回、病院運営会議 年37回 ）</p>			
<p>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="radio"/>有・無 ） （平成29年度：役員会 年20回、経営協議会 年7回、病院運営会議 年37回 ）</p>			
<p>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無 ）</p>			
<p>・ 公表の方法 大学ホームページにて公表。</p>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 無)・ 周知の方法 院内 HP (イントラネット) に掲載している。 院内講習会にて周知している。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 ①病院機能評価「一般病院3」 2018年5月受審・評価結果待ち ②国際標準化機構「ISO15189」（検査部・細胞療法部） 2017年3月認定 ③卒後臨床研修評価機構「臨床研修評価」 2018年3月認定 ④厚生労働大臣 臨床研究法第23条第4項の要件に適合（臨床研究審査委員会） 2018年3月認定 ⑤ アジア太平洋地域倫理委員会フォーラム（臨床研究倫理委員会）2015年11月認定 ※⑤は2018年度更新予定です。	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 地域や患者の医療機関の選択に資するため、病院ホームページで各診療科の特徴や対象とする疾患について、情報発信している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ○複数診療科の医師及び多職種の医療スタッフを構成員としたチーム（精神科リエゾンチーム、栄養サポートチーム、認知症ケアチーム、呼吸ケアチーム、外来緩和ケアチーム、糖尿病ケアサポートチーム、透析予防診療チーム、排尿ケアチーム）を設置し、チーム医療を実践している。 ○周術期口腔管理センターを設置し、術後の周術期の口腔ケアだけでなく保存・補綴も含め必要な歯科治療すべてを扱い、医科歯科連携医療を推進している。	

